

令和4年度 年間授業計画 (評価計画)

東京都立富士高等学校

教科	国語	科目名	現代の国語			対象学年	1年	単位数	2単位	観点別評価			
使用教科書	探求 現代の国語 (桐原書店)					教科担当	A組: 石井 由紀 B組: 石井 由紀 C組: 石井 由紀			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
補助教材	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭増補版 常用国語便覧 (浜島書店) ・初訂版漢字マイスター 類出漢字熟語3000 (第一学習社) ・読解を深める現代文単語 (評論・小説) 改訂版 (桐原書店) ・新演習現代文アチーブ1 四訂版 (桐原書店) ・高校国語へのかけ橋 (いづな書店) 												
教科の目標	<p>【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことが出来るようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深める斗ともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたる国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p>												
科目の目標	<p>【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたりかめたりすることが出来るようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉をととして他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>												
学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域		配当時間	評価規準		評価方法					
1学期 (3週)	<p>【知識及び技能】言葉の特質や使い方を言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。</p> <p>ウ 常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中でつかうこと。</p> <p>エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級日誌を書く ・文化祭を企画する ・漢字テスト ・単語テスト 			1	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。 	ワークシート・プリント	●	●				
	<p>【知識及び技能】情報の扱い方</p> <p>ア 主張と論拠など、情報と情報との関係について理解する。</p> <p>エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭を企画する 			1	<ul style="list-style-type: none"> ・主張と論拠など、情報と情報との関係について理解している。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 	ワークシート・プリント	●	●				
	<p>【思考・判断・表現】話すこと・聞くこと</p> <p>ア 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。</p> <p>イ 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を工夫する。</p> <p>エ 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や厚生、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほどほどのデザイン」(佐藤卓) ・現代の詩 五編 ・「二十億光年の孤独」「崖」「るるる葬送」「帰途」「わたしが一番きれいだったとき」 ・「神様」(川上弘美) ・「マヨネーズの穴から」(原研哉) ・「環境世界」(大井玄) 	●		7	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を工夫している。 ・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や厚生、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 	ワークシート・プリント	●	●	リアクションペーパー	●	●	
	<p>【思考・判断・表現】書くこと</p> <p>イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や典型を工夫する。</p> <p>ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示しかたや説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふしぎと人生」(河合雅雄) ・「ほどほどのデザイン」(佐藤卓) ・現代の詩 五編 ・「二十億光年の孤独」「崖」「るるる葬送」「帰途」「わたしが一番きれいだったとき」 ・「神様」(川上弘美) ・「サイボーグとクローン人間」(山崎正和) ・「読む」(外山滋比古) ・「読む」(外山滋比古) 	●		11	<ul style="list-style-type: none"> ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や典型を工夫している。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示しかたや説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 	ワークシート・プリント	●	●	ノート・レポート	●	●	
	<p>【思考・判断・表現】読むこと</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を元的に的確に捉え、用紙や要点を把握する。</p> <p>イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに自分の考えを深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「おからなくらいがちょうどいい」(東条タビ) ・「ふしぎと人生」(河合雅雄) ・「ほどほどのデザイン」(佐藤卓) ・「神様」(川上弘美) ・「サイボーグとクローン人間」(山崎正和) ・「読む」(外山滋比古) ・「読む」(外山滋比古) ・「マヨネーズの穴から」(原研哉) ・「環境世界」(大井玄) 	●		4	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を元的に的確に捉え、用紙や要点を把握している。 ・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに自分の考えを深めている。 	ワークシート・プリント	●	●	ノート	●	●	
	<p>【知識及び技能】我が国の言語文化に関する事項</p> <p>ア 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深める。</p>	読書指導 (POP作成)			1	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 	制作物	●	●	リアクションペーパー	●	●	
		1学期期末考査									1		

学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域			配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
			話	書	読						
主な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	【知識及び技能】我が国の言語文化に関する事項 ア 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深める。 【思考・判断・表現】話すこと・書くこと ウ 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。	読書指導（読書スピーチ・感想文）	●			1	・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。	ワークシート・プリント	●	●	●
								発表	●	●	●
									リアクションペーパー	●	●
	【知識及び技能】言葉の特徴や使い方 ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中でつかうこと。 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにする。	・求人票を読む ・全国高校生「好きな漢字」総選挙 ・「目の見えない人は世界をどう見ているのか」（伊藤亜紗） ・漢字テスト ・単語テスト				1	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。	ワークシート・プリント	●	●	●
								漢字テスト	●	●	●
									単語テスト	●	●
	【思考・判断・表現】話すこと・書くこと ア 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。 イ 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や厚生、論理の展開、表現の仕方などを評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりする。 ウ 論点を共有し、考えを広めたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出方を工夫する。 【知識及び技能】言葉の特徴や使い方 イ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の力を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどについて配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使う。	・「社会」の誕生」（対談） ・求人票を読む ・全国高校生「好きな漢字」総選挙 ・「目の見えない人は世界をどう見ているのか」（伊藤亜紗） ・「アリュージョン、老兵の夢と闇」（星野道夫）	●			7	・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や厚生、論理の展開、表現の仕方などを評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・論点を共有し、考えを広めたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出方を工夫している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の力を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどについて配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。	ワークシート・プリント	●	●	●
								リアクションペーパー	●	●	●
	【思考・判断・表現】書くこと ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にする。 イ 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題を捉え直したりする。	・「経済の論理／環境の倫理」（岩井克人） ・「連れてきた「私」」（若林幹夫） ・「アリュージョン、老兵の夢と闇」（星野道夫） ・「食の履歴書」（湯澤規子） ・「グローバル化と「文脈」」（與那覇潤） ・「ゆらぎ」（内山節）	●			12	・目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題を捉え直したりしている。	ワークシート・プリント	●	●	●
								ノート・レポートレポート	●	●	●
									単元テスト・定期考査	●	●
【思考・判断・表現】読むこと ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を元にした的確に捉え、用紙や要点を把握する。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに自分の考えを深める。 【知識及び技能】情報の扱い方 イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 オ 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使う。	・「経済の論理／環境の倫理」（岩井克人） ・「連れてきた「私」」（若林幹夫） ・「食の履歴書」（湯澤規子） ・「グローバル化と「文脈」」（與那覇潤） ・「ゆらぎ」（内山節）	●			4	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を元にした的確に捉え、用紙や要点を把握している。 ・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに自分の考えを深めている。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。	ワークシート・プリント	●	●	●	
							ノート	●	●	●	
								単元テスト・定期考査	●	●	●
	2学期期末考査				1						

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域			配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】	
				話・聞	書	読							
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	【知識及び技能】言葉の特徴や使い方 ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中でつかうこと。	・漢字テスト ・単語テスト				1	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中でつかっている。	ワークシート・プリント 漢字テスト 単語テスト	● ● ●		● ● ●	
		【思考・判断・表現】話すこと・聞くこと ア 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。 イ 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や厚生、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりする。 ウ 論点を共有し、考えを広めたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫する。 【知識及び技能】言葉の特徴や使い方 カ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や直接的な述べ方について理解し使う。	・「庭」（山本文緒） ・現代の短歌十首／俳句十句 ・パンフレットを作る ・新聞記事からバリアフリーを考える			●	6	・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や厚生、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・論点を共有し、考えを広めたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や直接的な述べ方について理解し使う。	ワークシート・プリント リアクションペーパー		● ●	● ●	
		【思考・判断・表現】書くこと ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にする。 イ 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題を捉え直したりする。	・「言葉を学ぶとは」（高田明典） ・歴史は「今・ここ・私」に向かってはいない（内田樹） ・「生物多様性と科学」（本川達雄） ・「ヒトの「進化」と普遍性」（池澤夏樹）			●	7	・目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題を捉え直したりしている。	ワークシート・プリント ノート・レポートレポート 単元テスト・定期考査		● ● ●	● ● ●	
	【思考・判断・表現】読むこと ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を元的に捉え、用紙や要点を把握する。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに自分の考えを深める。 【知識及び技能】情報の扱い方 イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 ウ 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使う。	・「言葉を学ぶとは」（高田明典） ・歴史は「今・ここ・私」に向かってはいない（内田樹） ・「生物多様性と科学」（本川達雄） ・「ヒトの「進化」と普遍性」（池澤夏樹）			●	3	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を元的に捉え、用紙や要点を把握している。 ・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに自分の考えを深めている。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。	ワークシート・プリント ノート 単元テスト・定期考査	● ● ●		● ● ●		
			3学期期末考査				1						

令和4年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科	国語	科目名	言語文化	対象学年	1年	単位数	2単位	観点別評価	
使用教科書	探究 言語文化（桐原書店）			教科担当	A組：石井 由紀 B組：石井 由紀 C組：石井 由紀			主体的に学習に取り組む態度	
補助教材	・体系古典文法9訂版（教研出版）・体系古典文法学習ノート（教研出版） ・新演習古典アチーブ1三訂新版（桐原書店） ・新明説漢文（尚文出版）・新明説漢文ノート（尚文出版） ・わかる、読める、解ける古文単語330（いいずな書店）								
教科の目標	【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことが出来るようになる。 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。							知識・技能	
科目の目標	【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。								
学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域	話・書・読	配当時間	評価規準	評価方法		
主な学習内容と授業時数	【思考・判断・表現】読むこと（古文） ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 イ 作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係路踏まえ、内容を解釈を深める。 オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ。	【教材】 ・「児のそら寝」（宇治拾遺物語） ・「検非違使忠明」（宇治拾遺物語） ・「大江山」（十訓抄） ・「花盗人の歌」（沙石集） ・「鷹使の見た夢」（沙石集） ・「ある人、弓を射ることを習ふに」 ・「奥山に猫またといふもの」 ・「丹波に出雲といふ所あり」 ・「花は盛りに」（徒然草）		●	15	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係路踏まえ、内容を解釈を深めている。	ワークシート・プリント ノート・レポートレポート 単元テスト・定期考査	●	●
	【思考・判断・表現】読むこと（漢文） ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係路踏まえ、内容を解釈を深める。 オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ。	・推敲 ・知音 ・塞翁馬 ・漁夫の利 ・朝三暮四		●	7	・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係路踏まえ、内容を解釈を深めている。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ。	ワークシート・プリント ノート・レポートレポート 単元テスト・定期考査	●	●
	【思考・判断・表現】書くこと ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。 イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫する。 【知識及び技能】 エ 文章の意味は文脈の中で形成されることを理解する。 オ 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。	・「大江山」（十訓抄） ・「花盗人の歌」（沙石集） ・「丹波に出雲といふ所あり」 ・「花は盛りに」（徒然草）		●	2	・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 ・文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。	ワークシート・プリント リアクションペーパー	●	●
	【知識及び技能】 ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 イ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、ぶんやそうのなかでつかうことを通して五感を磨き語彙を豊かにする。	・単語テスト ・句法テスト			1	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、ぶんやそうのなかでつかうことを通して五感を磨き語彙を豊かにしている。	単語テスト 句法テスト	●	●
	1学期期末考査				1				

学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	評価方法	【知】	【感】	【主】
			話・聞	書	読					
主な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	<p>【思考・判断・表現】読むこと（古文）</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。</p> <p>イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。</p> <p>エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係踏まえ、内容の解釈を深める。</p> <p>オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ。</p>	<p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「春はあけぼの」「ありがたきもの」「九月ばかり」（枕草子） ・「門出」「かしらの雪」「帰京」（土佐日記） ・「なよ竹のかぐや姫」（竹取物語） ・「芥川」「東下り」（伊勢物語） 	●	10	●	<p>・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p>	ワークシート・プリント	●	●	
						<p>・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。</p>	ノート・レポートレポート	●	●	
						<p>・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係踏まえ、内容の解釈を深めている。</p>	単元テスト・定期考査	●	●	
	<p>【思考・判断・表現】読むこと（漢文）</p> <p>ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。</p> <p>エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係踏まえ、内容の解釈を深める。</p> <p>オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ。</p>	<p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶏口牛後 ・鶏鳴狗盗 ・管鮑之交 ・鶏鳴狗盗 ・五言絶句 ・七言絶句 ・五言律詩 ・七言律詩 	●	4	●	<p>・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係踏まえ、内容の解釈を深めている。</p>	ワークシート・プリント	●	●	
						<p>・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。</p>	ノート・レポートレポート	●	●	
						<p>・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係踏まえ、内容の解釈を深めている。</p>	単元テスト・定期考査	●	●	
	<p>【思考・判断・表現】書くこと</p> <p>ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。</p> <p>イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫する。</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>エ 文章の意味は文脈の中で形成されることを理解する。</p> <p>オ 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。</p>	<p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「筒井筒」「秤弓」「小野の雪」（伊勢物語） 	●	2	●	<p>・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。</p> <p>・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。</p> <p>・文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</p>	ワークシート・プリント	●	●	●
						<p>・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係踏まえ、内容の解釈を深めている。</p>	リアクションペーパー	●	●	
						<p>・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係踏まえ、内容の解釈を深めている。</p>				
	<p>【知識及び技能】</p> <p>ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。</p> <p>イ 常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。</p> <p>ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、ぶんやそうのなかでつかうことを通して五感を磨き語彙を豊かにする。</p>	<p>・単語テスト</p> <p>・句法テスト</p>		1	●	<p>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>・常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、ぶんやそうのなかでつかうことを通して五感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	単語テスト	●	●	
<p>・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係踏まえ、内容の解釈を深めている。</p>						句法テスト	●	●		
<p>・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係踏まえ、内容の解釈を深めている。</p>										
<p>【思考・判断・表現】読むこと（近代以降）</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。</p> <p>イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。</p>	<p>【教材】</p> <p>「羅生門」（芥川龍之介）</p>		8	●	<p>・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>・作品や文章の成立</p>	ワークシート・プリント	●	●		
					<p>・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。</p>	ノート・レポートレポート	●	●		
					<p>・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係踏まえ、内容の解釈を深めている。</p>	単元テスト・定期考査	●	●		
2学期期末考査					1					

学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
			話・聞	書	読					
3 学 期 （ 9 週 ）	<p>【思考・判断・表現】読むこと（古文） ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 イ 作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係踏まえて、内容を解釈を深める。 オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ。</p>	<p>【教材】 ・無題 ・野中兼山 ・万葉集 ・古今和歌集 ・新古今和歌集 ・「旅こそ栖」（奥の細道）</p>	●	6	<p>・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係踏まえて、内容を解釈を深めている。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ。</p>	ワークシート・プリント ノート・レポートレポート 単元テスト・定期考査	●	●	●	
	<p>【思考・判断・表現】読むこと（漢文） ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係踏まえて、内容を解釈を深める。 オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ。</p>	<p>【教材】 ・論語 ・孟子・論語 ・孟子</p>	●	2	<p>・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係踏まえて、内容を解釈を深めている。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ。</p>	ワークシート・プリント ノート・レポートレポート 単元テスト・定期考査	●	●	●	
	<p>【思考・判断・表現】書くこと ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料よさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。 イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫する。 【知識及び技能】 エ 文章の意味は文脈の中で形成されることを理解する。 オ 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。</p>	<p>【教材】 ・近代の短歌 八首 ・近代の俳句 八句 ・無題 ・野中兼山 ・万葉集 ・古今和歌集 ・新古今和歌集 ・「旅こそ栖」（奥の細道）</p>	●	2	<p>・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料よさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 ・文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</p>	ワークシート・プリント リアクションペーパー	●	●	●	
	<p>【知識及び技能】 ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 イ 常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、ぶんやそうのなかでつかうことを通して五感を磨き語彙を豊かにする。</p>	<p>・単語テスト ・句法テスト</p>		1	<p>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、ぶんやそうのなかでつかうことを通して五感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	単語テスト 句法テスト	●	●	●	
	<p>【思考・判断・表現】読むこと（近代以降） ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 イ 作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。</p>	<p>【教材】 「蠅」（横光利一） 「猿が島」（太宰治）</p>	●	12	<p>・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・作品や文章の成立</p>	ワークシート・プリント ノート・レポートレポート 単元テスト・定期考査	●	●	●	
	3学期期末考査			1						

主な学習内容と授業時数

令和4年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科	地理歴史	科目名	地理総合	対象学年	1年	単位数	2単位	観点別評価
使用教科書	高等学校 新地理総合（帝国書院）			教科担当	A組：佐竹 綾 B組：佐竹 綾 C組：佐竹 綾			
補助教材	新詳高等地図（帝国書院）、最新地理図表GEO（第一学習社）、地理総合演習ノート（啓隆社）							
教科の目標	<p>【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる今日的な課題の解決に向けての構想力、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する深い理解、他国や多文化主義の考え方を尊重することなどの自覚を深める。</p>							
科目の目標	<p>【知識及び技能】地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】地理に関わる事象の意味や意義、特徴や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】地理に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国が抱える地理的な諸課題についての関心、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての意識を深める。</p>							
学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	知識・技能		
主な学習内容と授業時数	【知識・技能】 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 緯度が違う地域の具体的な様子を写真等を使い比較する。 時差があることによってどのようなことに気を付けてはいけないか、考える。 図法によって正しく表現できる事象とそうでない事象があることを整理する。 それぞれの地図の用途を考える。 統計地図のそれぞれの特徴をおさえさせ、使用例を考える。 絶対分布図と相対分布図の違いを理解する。 国家の三要素について理解し、日本の排他的経済水域の特徴をおさえる。 日本の領土をめぐる問題と、現在の状況について理解する。 現在のロシアとウクライナの問題に触れながら、国際関係、国連が果たす役割、貿易への影響について考える。 交通網の発達や技術向上によって時間距離の短縮が図られたことを理解する。 それぞれの交通の特徴をおさえる。 世界遺産やエコツーリズム等の普及によって、多様な観光の形態が生まれていることに気付く。 コロナ禍での観光の在り方について模索する。 	6	<p>【知識・技能】 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	発表 ワークシート	●	●	●
	【知識・技能】 人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思考・判断・表現】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の人々の生活文化について、その生活文化の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> 変動帯のプレート境界で起きる火山活動や地震について特徴を整理する。 安定陸塊と変動帯で生きる人々の生活の違いに気付く。 河川が作る地形と生活の関わりについて、上・中流域、下流域の違いを整理する。 自分たちの住んでいる地域がどの地形に該当するのか、調べる。 気候要素について整理をし、大気循環について理解を深める。 気候の人々の生活への影響について、事例をもとに考察する。 ケッペンの気候区分について理解し、熱帯地域に暮らす人々の生活の工夫について考察する。 乾燥帯という厳しい環境に生きる人々の水を得るための工夫、快適に過ごすための工夫について考察する。 4種類ある温帯のそれぞれの特徴を整理し、その環境下で生きる人々の生活の知恵や工夫について考察する。 亜寒帯や寒帯の植生や土壌が住環境や食生活に与える影響を考察する。 	9	<p>【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	発表 ワークシート	●	●	●
	【知識・技能】 世界の人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> オセアニアが太平洋に浮かぶ熱帯の島々と、新期造山帯で西岸海洋性気候のニュージーランド、地域によって自然環境が異なるオーストラリアに大きく分けられることを知り、それぞれの自然環境について整理をする。 オセアニアの国々が自然環境を活かした農業や観光業、鉱産資源を活かした貿易等が盛んであることを知る。 季節風（モンスーン）が東南アジアの人々に与える影響を考察する。 歴史的な背景から、それぞれの国・地域が信仰している宗教の違いを整理する。 東南アジアの気候を活かした農業と、それに関わる人々の生活について考察する。 植民地支配が人々の生活に与えた影響について考察する。 宗教によって規定されている人々の生活と、地域による差異について整理する。 イスラム人口の多い中東地域で産出される石油の利益で、人々の生活がどのように変容したかを知る。 イスラム女性の社会進出について意見を交換する。 民族宗教としてインドの人々に影響を与えるヒンドゥー教の考え、制度等について知る。 変容するインドの農業や食生活について考察する。 	10	<p>【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	発表 ワークシート	●	●	●
	1学期期末考查		1			●	●	●

主体的に学習に取り組む態度

学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
2 学 期 （ 1 3 週 ）	<p>【知識・技能】 人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ラテンアメリカの生活文化に植民地支配の影響が色濃く残っていることを知る。 ラテンアメリカの伝統的な農業が植民地支配の影響を受けて成立したものであることを知る。 アフリカの民族・生活文化が「北アフリカ」と「サブサハラ(サハラ以南のアフリカ)」に分けられることを知り、それぞれの地域の歴史的背景について理解を深める。 特にサブサハラ地域のモノカルチャー経済、経済格差、紛争、民族問題等について問題意識を持ち、原因究明や問題解決に向けて行動する。 ロシアの歴史的背景、そこで生きる人々の生活文化について理解を深める。 アメリカのICT産業の普及、ヨーロッパの地域統合等が世界やそこで暮らす人々の生活に与える影響について調べる。 経済成長著しい中国が世界に与えた影響について考察する。 中国国内における人々の生活の変容を捉える。 	9	<p>【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	<p>発表</p> <p>ワークシート</p> <p>定期考査</p>	●	●	●
	<p>【知識・技能】 地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 【思考・判断・表現】 地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> SDGsの視点から、地球的課題の解決に向けて「今」「私たち」にできることは何なのか考える。 世界中で行われている様々な取り組みを知る。 地球環境問題が発生している地域の地理的特徴について整理する。 その環境問題が発生する自然的・社会的要因を考察し、有用な解決策を模索する。 各国のエネルギーの利用の変化をグラフから読み取り、その要因を考察する。 各国のエネルギー問題についての取り組みを調べる。 発展途上国と先進国で人口ピラミッドがどのように異なるかを読み取り、整理する。 発展途上国と先進国の人口問題の解決に必要なものは何か、それぞれ考察する。 先進国と発展途上国の食糧問題がどのように関連しているかを考察し、解決策を模索する。 世界の大都市が分布している地域の特徴を考察する。 世界各地で発生する都市問題について理解を深める。 グループで関係図にまとめ、第1時～第6時までの問題がどのように関連しているのかについて整理する。 	16	<p>【知識・技能】 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 【思考・判断・表現】 地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	<p>発表</p> <p>ワークシート</p> <p>定期考査</p>	●	●	●
	2学期期末考査			1				
3 学 期 （ 9 週 ）	<p>【知識・技能】 地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 【思考・判断・表現】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本の河川と世界の河川の特徴について整理し、起きやすい災害を考察する。 日本各地の気候の違いに着目し、それぞれの地域で起きやすい災害を考察する。 海溝型地震と直下型地震の特徴について整理し、過去に起きた震災の被害を確認する。 海溝型地震の際に発生する津波の被害が起きやすい地域と起きにくい地域では何が違うのか、考察する。 火山の恵みと災害にはどのような種類があるかを整理し、それが日本に住む人々に与える影響について整理する。 気象災害の種類を整理し、場所によってどのような違いが生まれるのかを考察する。 気象災害に対して行われている取り組みを整理し、その課題を考察する。 防災、減災のハード面での対策とソフト面での対策をそれぞれ整理する。 被災地への支援について、短期的な支援と長期的な支援に分けて整理をする。 身近な生活圏でどのような地理的課題が見られるかを調査するため、文献や新聞記事等を採り研究する。 実際に現地調査を行い、調査結果をまとめ、発表をする。 	17	<p>【知識・技能】 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付けている。 【思考・判断・表現】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	<p>発表</p> <p>ワークシート</p> <p>定期考査</p>	●	●	●
3学期期末考査			1					

令和4年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科	地理歴史	科目名	歴史総合	対象学年	1年	単位数	2単位	観点別評価				
使用教科書	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える			教科担当	A組：箱崎 純一 B組：箱崎 純一 C組：箱崎 純一			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
補助教材	問いからはじまる歴史総合											
教科の目標	【知識及び技能】身近な事柄が、時間的な推移や空間的な結びつきのなかで歴史と結びつきをもっていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】諸資料や図版などから適切に情報を読み取り、その時代の様子や現代との異同を判断している。 【学びに向かう力、人間性等】身近な題材に対して自身で「問い」を立て、歴史との関連を追究しようとしている。											
科目の目標	【知識及び技能】近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決や視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それをもとに議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】愛の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。											
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法						
主な学習内容と授業時数	1学期	結びつく世界と日本 ・18世紀の東アジアにおける社会と経済 ・貿易が結んだ世界と日本 ・産業革命 ・中国の開港と日本の開国	18世紀の世界と日本は、どのように結びついていたのか考察することができる。 18世紀から始まる技術革新の波は、世界をどのように変えたのか表現することができる。 清の開国と日本の開国によって、東アジアはどのように変わったのか理解することができる。	6	【知】諸資料から18世紀の東アジアにおける社会と経済の特徴を理解している。 諸資料から欧米諸国のアジア進出の背景や意図を読み取り、中国の開港や日本の開国が、人々の生活に与えた影響を理解している。 【思】諸資料を読み解くことで、近世の中国社会と経済の特徴を理解している。 人・モノ・情報の往来を通して、世界経済のなかで東アジアがより大きな位置を占めるようになったことについて考察している。 【主】商業ルートの発達と資料を組み合わせて理解しようとしている。	論述課題	●	●	●			
						ワークシート	●	●	●			
						定期考査	●	●	●			
	1 3週	国民国家と明治維新 ・市民革命 ・国民国家とナショナリズム ・明治維新 ・日本の産業革命 ・帝国主義	・アメリカ独立革命が一つの市民革命であったことを理解する。 ・ナポレオンとフランス革命の関係について理解する。 国民国家の特徴について身分制国家などと対比して理解する。 ・日本のあだ日本帝国憲法の制定などをもとに、立憲体制と国民国家の形成について理解する。 ・産業革命の成功国との自由貿易ともなう、日本の産業界の変容と再編の過程について理解する。 ・欧米諸国による植民地化の背景や経緯について理解する。	6	【知】アメリカ独立宣言やフランス人権宣言の資料を読み取り、そこで述べられている政府の存在意義を理解している。 【思】国民国家の形成がもたらした影響や課題について考察している。 諸資料を読み取りを通して、幕末から明治時代初期の政治や社会の変動について考察し、五箇条の御誓文が、国会開設の出発点となったことを考察している。 【主】植民地化の進展について見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら研究しようとしている。	提出物	●	●	●			
						発表	●	●	●			
						定期考査	●	●	●			
	1 3週	変容する東アジアの国際秩序 ・日露戦争と東アジアの変動	明治維新後の日本が、外交交渉や国教の画定を通して、主権国家、国民国家の形成をめざしたことについて理解する。 日清戦争後の欧米列強や日本の勢力拡大に対する、清や朝鮮の政府や民衆の動向について理解する。 日露戦争後の日本の動向、および韓国の植民地化など東アジアをめぐる国際関係の変容について理解する。	6	【知】日本が国境の画定、条約改正、国交の締結などの外交交渉を通して、主権国家として近代化をめざしたことについて理解している。 【思】諸資料の読み取りを通して、明治初期の諸条約の歴史的意義を考察するとともに、琉球および蝦夷地の日本への編入についても考察している。 【主】アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較し、帝国主義政策の特徴や列強間の関係がどのように変化したのかという問いに対して、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追求しようとしている。	提出物	●	●	●			
						発表	●	●	●			
						定期考査	●	●	●			
	1 3週	総力戦と社会運動 ・第一次世界大戦の展開 ・ソヴェト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭	・第一次世界大戦がなぜ最初の「大戦」となったのかを理解する。 ・第一次世界大戦と日本の関わりについて理解する。 ・ロシア革命の経過、および「土地に関する布告」「平和に関する布告」などからわかるボルシェヴィキ政権の性格を理解する。 ・アメリカ合衆国の経済的繁栄と、アメリカ社会に依存した不寛容な傾向について理解する。	7	【知】諸資料から、第一次世界大戦が当初の予想よりも長期化した要因を理解している。 【思】第一次世界大戦の特徴について、それまでの戦争と比較したうえで考察している。 【主】第一次世界大戦後の世界におけるソ連とアメリカ合衆国の影響力について、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追求しようとしている。	提出物	●	●	●			
発表						●	●	●				
定期考査						●	●	●				
		1学期期末考査		1								

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週）	<ul style="list-style-type: none"> ヴェルサイユ体制とワシントン体制 世界経済の変容と日本 アジアのナショナリズム 大衆の政治参加 消費社会と大衆文化 	<ul style="list-style-type: none"> ヴェルサイユ条約の内容(国際連盟の設立とドイツの賠償)、およびその結果としてのドイツの状況について理解する。 第一次世界大戦直前の日本で、貿易赤字など国際収支の危機が続いた理由について理解する。 第一次世界大戦後に高揚した朝鮮半島や中国のナショナリズムの在り方やその相違点について理解する。 欧米諸国において、工業化の進展により労働運動や社会主義運動が広がり、第一次世界大戦を機に参政権が拡大したことについて理解する。 アメリカ合衆国の大衆消費社会が、マスメディアを通して、生活や文化の平準化や画一化につながったことについて理解する。 	8	【知】 総力戦の直接的な影響を受けなかった日米両国が経済成長する要因を理解している。 【思】 朝鮮半島・中国でのナショナリズムの様相とその相違を考察し、表現している。 【主】 都市的で画一化した生活様式や、大量生産と大量消費を前提とした大衆文化がどのように発展したのかという問いに対して、学習の見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追求しようとしている。	提出物			
			発表						
			定期考査						
		<ul style="list-style-type: none"> 経済危機と第二次世界大戦 世界恐慌の時代 ファシズムの伸長と共産主義 日中戦争への道 第二次世界大戦の展開 第二次世界大戦下の社会 	<ul style="list-style-type: none"> アメリカ合衆国で大恐慌が発生した原因と対策、および世界への波及について理解する。 イタリアやドイツでファシズムが伸長した背景とその特徴について、諸資料の比較・分析を通して理解する。 中国国民党が南京国民政府を成立させた経緯と、国際社会、とくに日本や中国共産党との関係について理解する。 第二次世界大戦が、大規模かつ凄惨かつ長期化した戦争となった背景とその情勢について理解する。 	8	【知】 アメリカ合衆国の大恐慌と、ヨーロッパや日本がどのように結びついているのかについて理解している。 【思】 ファシズムが伸長した背景とその特徴を、イタリアのムッソリーニ政権とドイツのナチ党政権を比較しつつ考察し、表現している。 【主】 第二次世界大戦が大規模で凄惨かつ長期化した戦争となった背景と大戦の推移について、学習の見通しをもって取り組むとともに、自身の問いと関連付けて追及している。	提出物	●	●	●
		発表	●	●	●				
		定期考査	●	●	●				
<ul style="list-style-type: none"> 国際連合と国際経済体制 占領と戦後改革 冷戦の始まりと東アジア諸国の重虎 日本の独立と日米安全保障条約 	<ul style="list-style-type: none"> 国際連合の特徴と課題を国際連盟と比較しながら理解する。 占領と戦後改革について、ドイツと日本の事例を比較しながら、その特徴と展開を冷戦体制の文脈に位置付けながら理解する。 表面化した冷戦は国際社会にどのような影響を与えたのかを理解する。 独立の経緯から、その後の日本に残された課題について理解する。 	9	【知】 諸資料から、国際連合の形成過程や目的、その実情や課題を、国際連盟と比較しつつ理解している。 【思】 表面化した冷戦が国際社会にどのような形で影響を与え、進展したのかについて考察し、表現している。 【主】 世界の分断はどのように表面化し進んだのかという問いについて、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追求しようとしている。	提出物	●	●	●		
発表	●	●	●						
定期考査	●	●	●						
		2学期期末考査		1					
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週）	冷戦と世界経済 <ul style="list-style-type: none"> 冷戦下の地域紛争と脱植民地化 東西陣営の動向と1960年代の社会 軍拡競争から緊張緩和 地域連携の形成と展開 計画経済とその波及 日本の高度経済成長 アジアのなかの戦後日本 	<ul style="list-style-type: none"> 冷戦が第二次世界大戦後に独立・建国した国々にどのような影響をおよぼしたのかを理解する。 東西両陣営の社会がどのように変容したのかを、アメリカ合衆国と西ヨーロッパ諸国の関係及びソ連の東ヨーロッパ諸国に対する影響などを通じて理解する。 デタントが崩壊する過程を理解する。 西ヨーロッパ統合の背景と歴史的な過程について理解する。 計画経済の特徴とその影響について理解する。 東アジア・東南アジアの国々との戦後処理や、外交正常化の経緯や影響について理解する。 	9	【知】 諸資料から、冷戦がアジア・アフリカ諸国に対して与えた影響および冷戦に対するアジア・アフリカ諸国の反応を理解している。 【思】 アメリカ合衆国と西ヨーロッパ諸国との関係の変化について考察し、表現している。 【主】 国際連合の形成過程や目的、その実情や課題を、国際連盟と比較しつつ理解している。 【主】 核兵器の開発と抑制の動きの歴史的背景について、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。	提出物	●	●	●
			発表	●	●	●			
			定期考査	●	●	●			
		<ul style="list-style-type: none"> 世界秩序の変容と日本 石油危機 アジア諸地域の経済発展 市場開放と経済の自由化 情報技術革命とグローバル化 冷戦の終結とソ連の崩壊 現代の東アジア 東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化 地域統合の拡大と変容 地域紛争と国際社会 現代と私たち 	<ul style="list-style-type: none"> ドル＝ショックの背景と内容、および影響について理解する。 アジアNIESとASEANの成長と展開について理解する。 新自由主義の特徴について、イギリスや日本の事例から理解する。 現代的諸課題の形成や課題解決に資する歴史的経緯をもとに考察する。 ソ連の改革と冷戦の終結について理解する。 中国で改革・開放路線が採用され急速な経済発展が進み、東アジアにおける地位が変化していることを理解する。 東南アジア諸国の民主化の経過、および日本のPKO活動について理解する。 各地域統合の経緯や影響について理解する。 冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。 歴史的経緯をふまえて、現代的な諸課題を理解する。 	8	【知】 1973年頃の日本のスーパーマーケットの写真から、なぜこのような状況になったのかを理解している。1970年～2000年代にかけてのアジアのGDP推移グラフを読み取るができる。創作四字熟語がそれぞれ何を意味するのかを理解している。 【思】 新自由主義について諸資料を用いながら、その推移の背景にある歴史的事象について考察している。諸資料などを読み取り、各地域統合・自由貿易協定の課題について考察している。 【主】 自身の興味・関心に従って主題を選択・設定しようとしている。資料の読み取りや考察の結果などを他者と共有し、追求しようとしている。	提出物	●	●	●
		発表	●	●	●				
		定期考査	●	●	●				
		3学期期末考査		1					

令和4年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科	数学	科目名	数学 I	対象学年	1年	単位数	2単位	観点別評価
使用教科書	数学 I（数研出版）			教科担当	A組：浮葉 翔、高山 愛 B組：浮葉 翔、増田 達哉 C組：浮葉 翔、粕谷 和宏			主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能
補助教材	サクシード数学 I + A（数研出版）							
教科の目標	【知識及び技能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現で事象を明瞭に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し活用したり、粘り強く考え、過程を振り返って考えを深めたり評価・改善しようとする態度を養う。							
科目の目標	【知識及び技能】数と式、2次関数、図形と計量およびデータの分析について、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し活用したり、粘り強く考え、過程を振り返って考えを深めたり評価・改善しようとする態度を養う。							
学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法			
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期	2次関数	2次関数の最大と最小	5	特に、次の点を評価する。 【知】2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 【思】具体的な事象について、2次関数の最大・最小の考えを用いて問題を解決できる。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとして、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようすることができる。	レポート課題	●	●
						単元テスト	●	●
		定期考査	●	●				
		2次方程式 グラフと2次方程式	3	特に、次の点を評価する。 【知】2次方程式の解が2次関数のグラフとx軸との共有点のx座標で与えられることを理解できる。 【思】2次関数の係数の変化に伴うグラフやx軸との共有点の変化について考察できる。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとして、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようすることができる。	レポート課題	●	●	
					単元テスト	●	●	
		定期考査	●	●				
	グラフと2次不等式	4	特に、次の点を評価する。 【知】2次不等式の解が2次関数のグラフとx軸との位置関係から求められる。 【思】2次関数の係数の変化に伴うグラフやx軸との共有点の変化について考察できる。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとして、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようすることができる。	レポート課題	●	●		
				単元テスト	●	●		
	定期考査	●	●					
	2 学 期	数と式	集合、命題と条件	3	特に、次の点を評価する。 【知】集合の表現方法を正しく理解し、それを用いて立式できている。 【思】命題の真偽を判断し、必要条件と十分条件について考えることができる。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとして、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようすることができる。	レポート課題	●	●
						単元テスト	●	●
						定期考査	●	●
命題と証明 【富士未来学と関連】		5	特に、次の点を評価する。 【知】逆・裏・対偶の真偽を正しく判断できる。 【思】証明で対偶を用いるか、背理法を用いるかを判断し、正しい証明の手順で結論まで論証することができる。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとして、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようすることができる。	レポート課題	●	●		
				単元テスト	●	●		
				定期考査	●	●		
図形と計量	三角比	4	特に、次の点を評価する。 【知】正弦、余弦および正接を直角三角形の辺の比と角との関係として理解し、活用することができる。 【思】具体的な事象について三角比を使って考察することができる。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとして、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようすることができる。	レポート課題	●	●		
				単元テスト	●	●		
	定期考査	●	●					
	三角比の相互関係	4	特に、次の点を評価する。 【知】三角比の相互関係を利用して、1つの三角比から残りの三角比を求めることができる。 【思】直角三角形の辺の比から90° - Aの三角比とAの三角比の関係を導く過程を理解することができる。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとして、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようすることができる。	レポート課題	●	●		
				単元テスト	●	●		
	定期考査	●	●					
三角比の拡張	4	特に、次の点を評価する。 【知】鈍角まで拡張した三角比の意義を理解している。 【思】直線y = m x + x軸の正の向きとのなす角をθとするとき、m = tan θであることを理解している。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとして、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようすることができる。	レポート課題	●	●			
			単元テスト	●	●			
定期考査	●	●						
正弦定理 余弦定理	6	特に、次の点を評価する。 【知】正弦定理を用いて、辺や角の大きさを求めることができる。 余弦定理を用いて、辺や角の大きさを求めることができる。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとして、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようすることができる。	レポート課題	●	●			
			単元テスト	●	●			
定期考査	●	●						
	1学期期末考査		1					

学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】	
主な学習内容と授業時数	2 データの分析 【知】分散、標準偏差、散布図、相関係数の計算の方法について理解する。データを表やグラフに整理、基本的な統計量を求められる。仮説検定の考え方を理解している。 【思】散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察できる。データの収集、分析、特徴を表現できる。主張の妥当性を判断し、批判的に考察できる。 【学】粘り強く柔軟に考えることができ、数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。	正弦定理と余弦定理の応用	8	特に、次の点を評価する。 【知】三角形の決定条件が与えられたとき、三角形の残りの要素を求めることができる。 【思】正弦定理・余弦定理を三角形の決定条件と関連づけて活用することができる。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとするすることができる。	レポート課題 単元テスト 定期考査		●	●	
		三角形の面積 空間図形の計量	8	特に、次の点を評価する。 【知】2辺とその間の角が与えられているとき及び3辺が与えられているときの三角形の面積を求めることができる。 【思】三角比を空間図形の計量の考察に用いることができる。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとするすることができる。	レポート課題 単元テスト 定期考査		●	●	
		データの代表値 データの散らばりと四分位範囲 【富士未来学と関連】	6	特に、次の点を評価する。 【知】四分位数、四分位範囲、四分位偏差などの用語の意味を理解している。 【思】表、図、値などから代表値や四分位数などのデータの特性や法則性を的確にとらえることができる。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとすることができる。	レポート課題 単元テスト 定期考査		●	●	
		分散と標準偏差 【富士未来学と関連】	6	特に、次の点を評価する。 ○分散、および標準偏差の値を求めることができる。 ○データの値を一次変換した場合の分散、標準偏差の値を求めることができる。	レポート課題 単元テスト 定期考査		●	●	
		データの相関 【富士未来学と関連】	6	特に、次の点を評価する。 【知】2つの変量の共分散や相関係数を求めることができる。 【思】散布図と相関係数から2つの変量の間の相関関係を考察することができる。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとすることができる。	レポート課題 単元テスト 定期考査		●	●	
		仮説検定の考え方 【富士未来学と関連】	4	特に、次の点を評価する。 【知】帰無仮説や対立仮説について理解している。 【思】推測統計の考え方を理解している。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとすることができる。	レポート課題 単元テスト 定期考査		●	●	
		2学期期末考査	1						

令和4年度 年間授業計画 (評価計画)

東京都立富士高等学校

教科	数学	科目名	数学Ⅱ	対象学年	1年	単位数	1単位	観点別評価				
使用教科書	数学Ⅱ (数研出版)			教科担当	A組: 浮葉 翔、高山 愛 B組: 浮葉 翔、増田 達哉 C組: 浮葉 翔、粕谷 和宏			主体的に学習に取り組み態度				
補助教材	サクシード数学Ⅱ+B (数研出版)											
教科の目標	【知識及び技能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現で事象を明瞭に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し活用したり、粘り強く考え、過程を振り返って考えを深めたり評価・改善しようとする態度を養う。											
科目の目標	【知識及び技能】いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び積分の考えについて、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】数の範囲や式の性質に着目し、方程式を用いて図形を考察したり、事象を数学的に考察し、問題を解決したり、過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し活用したり、粘り強く考え、過程を振り返って考えを深めたり評価・改善しようとする態度を養う。											
学期	3	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組み態度			
主な学習内容と授業時数	3	式と証明 【知】整数の除法や分数の計算と関連付けて、多項式の除法や分数式の計算の方法について、数学的活動を通して理解する。 【思】実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明する。 【学】いろいろな式について、粘り強く柔軟に考えることができ、数学的論拠に基づいて判断しようすることができる。	3次式の展開と因数分解 二項定理	2	特に、次の点を評価する。 【知】3次の乗法公式や因数分解の公式を利用して、式の展開や因数分解をすることができる。 【思】二項定理や多項定理を用いて展開式における係数を求めることができる。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようすることができる。	レポート課題 単元テスト 定期考査	● ● ●	● ● ●	● ● ●			
			整式の割り算 分数式とその計算	2	特に、次の点を評価する。 【知】整式の割り算にて商と余りを求めることができる。 【知】分数式の四則演算について理解し、計算処理することができる。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようすることができる。	レポート課題 単元テスト 定期考査	● ● ●	● ● ●	● ● ●			
			恒等式 2つの文字についての恒等式	1	特に、次の点を評価する。 【知】恒等式の意味を理解している。 【思】恒等式の係数比較法と数値代入法の違いを理解し、それらを問題に応じて活用することができる。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようすることができる。	レポート課題 単元テスト 定期考査	● ● ●	● ● ●	● ● ●			
			等式の証明	2	特に、次の点を評価する。 【知】等式の証明における論証方法について理解している。 【思】等式の証明を通して、式を論理的にみることができる。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようすることができる。	レポート課題 単元テスト 定期考査	● ● ●	● ● ●	● ● ●			
			不等式の証明	2	特に、次の点を評価する。 【知】数直線、数直線や平面の大小から不等式の証明を適切に記述することができる。 【思】相加平均と相乗平均の関係を用いて不等式の証明や式の値の最小・活用することができる。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようすることができる。	レポート課題 単元テスト 定期考査	● ● ●	● ● ●	● ● ●			
			複素数 2次方程式の解と判別式 解と係数の関係	3	特に、次の点を評価する。 【知】複素数まで拡張する意義を理解し、その四則演算を行うことができる。 【知】解の公式を利用して、2次方程式を虚数解も含めて解くことができる。 【主】2次方程式の解の意味を理解し、解の求め方についての基礎的な知識を身に付けている。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようすることができる。	レポート課題 単元テスト 定期考査	● ● ●	● ● ●	● ● ●			
			剰余の定理と因数定理 組立除法	2	特に、次の点を評価する。 【知】剰余の定理を用いて整式を整式で割ったときの余りを求めることができる。 【思】剰余の定理を活用して、剰余の関係から適切な余りの整式を判断することができる。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようすることができる。	レポート課題 単元テスト 定期考査	● ● ●	● ● ●	● ● ●			
			高次方程式 方程式の解と共役な複素数 3次方程式の解と係数の関係	3	特に、次の点を評価する。 【知】因数定理を用いて高次方程式を解くことができる。 【知】3次方程式の解の持つ性質を理解し、解と係数の関係を用いて式の値を求めることができる。 【思】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようすることができる。	レポート課題 単元テスト 定期考査	● ● ●	● ● ●	● ● ●			
			図形と方程式	4	直線上の点 平面上の点 直線の方程式 2直線の関係	特に、次の点を評価する。 【知】数直線上、平面上の内分点、外分点を座標を用いて表すことができる。 【知】与えられた条件から直線の方程式を導くことができる。 【思】点と直線の距離を求めることができる。 【思】三角形や四角形の性質や関係を、座標を用いて考察することができる。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようすることができる。	レポート課題 単元テスト 定期考査	● ● ●	● ● ●	● ● ●		
			円の方程式 円と直線 2つの円		5	【知】いろいろな条件を満たす円の方程式を求めることができる。 【知】中心間の距離と半径の和、差から2円の位置関係を考察することができる。 【思】2次方程式の判別式や円の中心と直線の距離を用いて、円と直線の位置関係を考察することができる。 【思】2円の交点を通る図形の方程式の求め方を理解している。 【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようすることができる。	レポート課題 単元テスト 定期考査	● ● ●	● ● ●	● ● ●		
					3学期期末考査		1					

令和4年度 年間授業計画 (評価計画)

東京都立富士高等学校

教科	数学	科目名	数学A	対象学年	1年	単位数	2単位	観点別評価		
使用教科書	数学A (数研出版)			教科担当	A組: 鳥谷部 光 B組: 稲村 有紀 C組: 稲村 有紀			知識・技能	主体的に学習に取り組み態度	
補助教材	サクシード数学I+A (数研出版)									
教科の目標	【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発見的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・詳細に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。									
科目の目標	【知識及び技能】 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係についても認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学的構造を見だし、数理的に考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。									
学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法					
主な学習内容と授業時数	1学期	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	集合とその要素の個数 【富士未来学と関連】 課題発見講座Ⅲのワークショップで使用するベン図と関連させて指導する。	3	主に次の点を評価する。 【知】 集合の要素の個数の公式を利用できる。 【思】 ベン図を利用して集合を図示することで、集合の要素の個数を考察することができる。 【主】 集合を考えることで、日常的な事柄などを、集合の要素の個数として数学的に数えようとしている。	単元テスト	●	●	●	
						課題・レポート		●	●	
							定期考査	●	●	●
			場合の数		2	主に次の点を評価する。 【知】 事象に応じて、和の法則、積の法則を使い分けて場合の数を求めることができる。 【思】 自然数の正の約数の個数を数える方法を考察することができる。 【主】 自然数の正の約数の個数を数えること、式の展開を用いて約数の和が求められることに興味を示そうとしている。	単元テスト	●	●	●
							課題・レポート		●	●
							定期考査	●	●	●
			順列		5	主に次の点を評価する。 【知】 順列に条件が付く場合に、条件の処理の仕方を理解している。 【思】 特殊な条件が付く順列を、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 【主】 樹形図を利用して、積の法則から順列の総数を求める式を導こうとしている。	単元テスト	●	●	●
						課題・レポート		●	●	
						定期考査	●	●	●	
			円順列・重複順列		2	主に次の点を評価する。 【知】 ものを並べる場合以外でも、重複順列の考え方を活用して処理することができる。 【思】 具体的な問題に対して、どのような場合に、円順列、重複順列の考え方が適用できるかを判断し、それらの公式を使って問題を解決することができる。 【主】 順列、円順列、重複順列の違いに興味・関心をもとうとしている。	単元テスト	●	●	●
						課題・レポート		●	●	
						定期考査	●	●	●	
		組合せ		5	主に次の点を評価する。 【知】 組合せに条件が付く場合に、条件の処理の仕方を理解している。 【思】 特殊な条件が付く組合せを、味方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 【主】 重複組合せについて理解し、その総数を、順列や組合せの考えを適切に用いて求めようとしている。	単元テスト	●	●	●	
					課題・レポート		●	●		
					定期考査	●	●	●		
13週	1	第1章 場合の数と確率 第2節 確率	事象と確率 【富士未来学と関連】 データ分析講座Ⅲと関連させて指導する。	1	主に次の点を評価する。 【知】 確率の定義を理解し、確率の求め方がわかる。 【思】 不確実な事象を、同様に確からしいという概念をもとに、数量的に捉えることができる。 【主】 くじを引くことを何回も繰り返す実験などを通して、統計的確率と数学的確率の違いに興味・関心をもとうとしている。	単元テスト	●	●	●	
						課題・レポート		●	●	
							定期考査	●	●	●
			確率の基本性質		1	主に次の点を評価する。 【知】 確率の計算に集合を活用し、複雑な事象の確率を求めることができる。 【思】 集合の性質を用いて、確率の性質を一般的に考察することができる。 【主】 加法定理などを利用して、複雑な事象の確率を意欲的に求めようとしている。	単元テスト	●	●	●
							課題・レポート		●	●
							定期考査	●	●	●
		独立な試行の確率		2	主に次の点を評価する。 【知】 複雑な独立試行の確率を、公式や加法定理などを用いて求めることができる。 【思】 3つ以上の独立な試行を行うとき、その結果として起こる事象の確率について考察することができる。 【主】 独立な試行の確率について、興味をもって調べようとしている。	単元テスト	●	●	●	
					課題・レポート		●	●		
					定期考査	●	●	●		
		反復試行の確率		2	主に次の点を評価する。 【知】 反復試行の意味を理解し、その確率の求め方がわかる。 【思】 既習の確率の知識を利用して、反復試行の確率について考察することができる。 【主】 具体的事象について、反復試行の確率を、興味をもって調べようとしている。	単元テスト	●	●	●	
					課題・レポート		●	●		
					定期考査	●	●	●		
		条件付き確率		2	主に次の点を評価する。 【知】 条件付き確率や確率の乗法定理を用いて確率の計算ができる。 【思】 原因の確率について、条件付き確率を利用して求める方法を考察することができる。 【主】 条件付き確率を利用して原因の確率が考えられることに興味をもち、考察しようとしている。	単元テスト	●	●	●	
					課題・レポート		●	●		
					定期考査	●	●	●		
		1学期期末考査		1		定期考査	●	●	●	

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	[知]	[思]	[主]
主な学習内容と授業時数	2学期(13週)		期待値	3	主に次の点を評価する。 【知】期待値の定義を理解し、確率の性質などに基づいて期待値を求めることができる。 【思】結果が不確実な状況下において、どの選択が合理的かを判断する基準として、期待値の考えを用いて考察することができる。 【主】日常の事象における不確実な事柄について判断する際に、期待値を用いて比較し、考察しようとしている。	単元テスト	●		●
			課題・レポート			●		●	
			定期考査		●		●		
		第3章 数学と人間の活動	約数と倍数	2	主に次の点を評価する。 【知】いろいろな数の倍数の判定法を理解しており、それらを用いて与えられた数について調べることができる。 【思】4の倍数の判定法から類推して、8の倍数の判定法を考察することができる。 【主】10の倍数以外についての判定法を調べようとしている。	単元テスト	●		●
				課題・レポート			●		●
				定期考査		●		●	
			素数と素因数分解	2	主に次の点を評価する。 【知】暗号技術に素因数分解の考えが活用されていることを理解している。 【思】「エラトステネスのふるい」を使うことにより得られた数字の並びから、素数についてどのようなことが成り立つかを考察することができる。 【主】数学史に興味・関心をもち、素数と素因数分解について学ぼうとしている。	単元テスト	●		●
				課題・レポート			●		●
				定期考査		●		●	
			最大公約数、最小公倍数	3	主に次の点を評価する。 【知】素因数分解を利用して最大公約数・最小公倍数を求める方法を理解している。 【思】2数の最大公約数、最小公倍数を利用して問題を考察することができる。 【主】「干支」という身近な用語について、最小公倍数との関連を見つけて考察しようとしている。	単元テスト	●		●
				課題・レポート			●		●
				定期考査		●		●	
			整数の割り算	2	主に次の点を評価する。 【知】2つの整数を除数と余りを用いて表し、その和などの余りを求めることができる。 【思】問題解決の過程を振り返って、割り算の余りの性質について考察を深めることができる。 【主】数学史の話題を通じて、割り算の方法や割り算の余りの性質に興味・関心をもちようとしている。	単元テスト	●		●
				課題・レポート			●		●
				定期考査		●		●	
			ユークリッドの互除法	3	主に次の点を評価する。 【知】互除法の原理を理解し、互除法を用いて2数の最大公約数を求めることができる。 【思】互除法の計算から最大公約数を表す式が導かれることを具体例から一般論に拡張し、考察することができる。 【主】互除法の原理の証明に興味・関心をもちようとしている。	単元テスト	●		●
				課題・レポート			●		●
定期考査				●		●			
	1次不定方程式	3	主に次の点を評価する。 【知】1次不定方程式の特殊解を求め、それによりすべての整数解を求めることができる。 【思】整数に関する問題を、1次不定方程式に帰着させて考察することができる。 【主】互除法や割り算の等式を利用して、1次不定方程式の解を求める方法に興味をもち、積極的に活用しようとしている。	単元テスト	●		●		
		課題・レポート			●		●		
		定期考査		●		●			
	記数法	2	主に次の点を評価する。 【知】n進法の整数を10進法で、10進法の整数をn進法で表すことができる。 【思】現代の記数法を古代の記数法と比較し、特徴を説明することができる。 【主】数学史の話題を通じて、数の表し方に興味・関心をもちようとしている。	単元テスト	●		●		
		課題・レポート			●		●		
		定期考査		●		●			
	座標の考え方	2	主に次の点を評価する。 【知】平面上の点における考え方を座標空間の点まで広げて考えることができる。 【思】座標平面上の点の位置を特定するために、条件から図形の性質に着目し、適切な定理を利用して考察することができる。 【主】平面上の点の位置に関する問題を、座標平面上で代数的に解決する解法の高さを知ろうとしている。	単元テスト	●		●		
		課題・レポート			●		●		
		定期考査		●		●			
	ゲーム・パズルの中の数学	3	主に次の点を評価する。 【知】ゲームの設定を多面的かつ論理的に考え、ゲームで勝つ方法を見つけることができる。 【思】ゲームの設定やパズルの仕組みを論理的に考察することができる。 【主】ゲームで勝つ方法やパズルの仕組みなどを、論理的に考察しようとしている。	単元テスト	●		●		
		課題・レポート			●		●		
		定期考査		●		●			
		2学期期末考査		1		定期考査	●		●

学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】		
3 学 期 （ 9 週 ）	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 【知】図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思】図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力を養う。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	三角形の辺の比	1	主に次の点を評価する。 【知】三角形の角の二等分線に関する性質を理解し、利用できる。 【思】図形の性質を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。また、適切な補助線を引いて考察することができる。 【主】線分を分ける点や、三角形の角の二等分線と比について調べようとしている。	単元テスト	●		●		
		三角形の外心、内心、重心	2	主に次の点を評価する。 【知】三角形の外心、内心、重心に関する性質や相互関係を証明することができる。 【思】図形の性質を証明するのに、間接的な証明法である同一法を適用することができる。 【主】三角形の外心、内心、重心に関する性質に興味を示し、積極的に考察しようとしている。	単元テスト	●		●		
		メネラウスの定理、チェバの定理	2	主に次の点を評価する。 【知】チェバの定理、メネラウスの定理を、三角形に現れる線分比や図形の面積比を求める問題に活用できる。 【思】チェバの定理、メネラウスの定理について、論理的に考察し、証明することができる。 【主】チェバの定理、メネラウスの定理に興味を示し、逆が成り立つことも含め積極的に考察しようとしている。	単元テスト	●		●		
		円に内接する四角形	2	主に次の点を評価する。 【知】円に内接する四角形の性質を利用して、角度を求めたり、円と四角形の性質を証明したりできる。 【思】円に内接する四角形の性質について、論理的に考察することができる。 【主】三角形の外接円は必ず存在するが、三角形以外の場合は必ずしも存在しないことから、四角形が円に内接する条件を考察しようとしている。	単元テスト	●		●		
		円と直線	2	主に次の点を評価する。 【知】接線と弦の作る角の性質を利用して、角度を求めることができる。 【思】接線と弦の作る角についての定理を証明する際に場合分けをしながら考察することができる。 【主】接線と弦の作る角についての定理を証明する際に、鋭角の場合と鈍角の場合に分けて考察しようとしている。	単元テスト	●		●		
		方べきの定理	2	主に次の点を評価する。 【知】方べきの定理を利用して、線分の長さを求めたり、図形の性質を証明したりできる。 【思】方べきの定理について、対象とする図形に応じて見方を変えて考えることができる。 【主】相似を利用した方べきの定理の導き方に興味・関心をもとうとしている。	単元テスト	●		●		
		2つの円の位置関係	2	主に次の点を評価する。 【知】2つの円の共通接線の長さを求めることができる。 【思】2つの円の位置関係を、動的な面から観察することができる。 【主】2つの円の位置関係の判定条件として、中心間の距離と半径の関係について、積極的に考察しようとしている。	単元テスト	●		●		
		作図	1	主に次の点を評価する。 【知】線分の内分点・外分点の作図ができる。 【思】平行線と線分の比の性質を利用して、内分点・外分点の作図の方法を考察することができる。 【主】数学で扱う作図と、日常において図形をかくことでは、何が違うか考えてみようとしている。	単元テスト	●		●		
		直線と平面	1	主に次の点を評価する。 【知】空間における2直線の位置関係やなす角を理解している。 【思】空間における直線や平面が平行または垂直となるかどうかを、与えられた条件から考察することができる。 【主】空間における図形の位置関係について考えてみようとしている。	単元テスト	●		●		
		多面体	2	主に次の点を評価する。 【知】正多面体どうしの関係を利用して、正多面体の体積を求めることができる。 【思】多面体から切り取ってきた立体について、特徴などを調べてどのような立体であるかを推定し、実際にその立体であることを証明することができる。 【主】オイラーの多面体定理がどんな凸多角体でも成り立つかどうか調べてみようとしている。	単元テスト	●		●		
				3学期期末考査	1		定期考査	●	●	
							単元テスト	●		●
							課題・レポート		●	●
							定期考査	●	●	
					単元テスト	●		●		
					課題・レポート		●	●		
					定期考査	●	●			

令和4年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科	理科	科目名	物理基礎	対象学年	1年	単位数	1単位	観点別評価			
使用教科書	高等学校 物理基礎			教科担当	A組：吉田 高志	B組：吉田 高志	C組：吉田 高志	知識・技能	主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	
補助教材	新課程版 セミナー 物理基礎										
教科の目標	【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。										
科目の目標	【知識及び技能】日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。										
学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法						
1学期 （1週）	熱運動と物質の三態 【知】熱運動と温度との関係を理解している。 【思】セルシウス温度と絶対温度の関係を式を用いて理解している。 【学】セルシウス温度と絶対温度の差を理解し、説明することができる。水を加熱していくときの、物質の状態と構成粒子の熱運動の関係について説明することができる。 【学】日常でよく使われる温度と絶対温度との違いを認識し、温度と熱との関係を主体的に考えようとする。	熱運動、物質の三態、絶対温度	1	【知】熱運動と温度との関係を理解している。 【学】セルシウス温度と絶対温度の差を理解し、説明することができる。水を加熱していくときの、物質の状態と構成粒子の熱運動の関係について説明することができる。 【学】日常でよく使われる温度と絶対温度との違いを認識し、温度と熱との関係を主体的に考えようとする。	単元テスト 実験レポート提出物 期末考査	●	●	●	●	●	
	熱量の計算 【知】熱容量と比熱の関係を学習し、熱量の保存についての式を立てることができる。 【思】温度の異なる物体を接触させたときに、熱がどちら向きに移動するかを考えることができる。 【学】熱量の計算に前向きに取り組む。	熱量の計算	2	【知】熱容量と比熱の関係を学習し、熱量の保存についての式を立てることができる。 【思】温度の異なる物体を接触させたときに、熱がどちら向きに移動するかを考えることができる。 【学】熱量の計算に前向きに取り組む。	単元テスト 実験レポート提出物 期末考査	●	●	●	●	●	
	水熱量計を用いた比熱の測定実験 【知】熱量計などを利用する熱量の保存に関する実験について、誤差を小さくするための正しい実験操作を実行できる。 【思】比熱と熱容量の違いを理解し、熱量の保存を利用して比熱などの測定を行うことができる。 【学】熱量の保存を利用した比熱の測定実験において、精度の高い結果を得るために自ら考え、意欲的に取り組んでいる。	比熱の測定実験【富士未来学と関連】	2	【知】熱量計などを利用する熱量の保存に関する実験について、誤差を小さくするための正しい実験操作を実行できる。 【思】比熱と熱容量の違いを理解し、熱量の保存を利用して比熱などの測定を行うことができる。 【学】熱量の保存を利用した比熱の測定実験において、精度の高い結果を得るために自ら考え、意欲的に取り組んでいる。	単元テスト 実験レポート提出物 期末考査	●	●	●	●	●	
	潜熱と仕事と熱 【知】物質の各状態における熱運動の様子を理解し、潜熱を計算することができる。エネルギー保存の法則が常に成り立つことを理解している。 【思】小型ポットを振ったときなどの、熱と仕事の関係について考察することができる。 【学】熱と仕事の関係について、日常における現象と結びつけて考えようとする。	潜熱、仕事と熱	2	【知】物質の各状態における熱運動の様子を理解し、潜熱を計算することができる。エネルギー保存の法則が常に成り立つことを理解している。 【思】小型ポットを振ったときなどの、熱と仕事の関係について考察することができる。 【学】熱と仕事の関係について、日常における現象と結びつけて考えようとする。	単元テスト 実験レポート提出物 期末考査	●	●	●	●	●	
	熱機関と熱力学第一法則 【知】熱力学の第1法則を用いて、内部エネルギーの変化、外部とやりとりする仕事、熱を計算することができる。熱機関のしくみを学び、熱効率を計算することができる。 【思】熱機関の基本的なしくみを理解し、その特徴を説明することができる。エネルギーの利用例について、日常のさまざまな現象や現象と結びつけて理解している。 【学】熱力学の第1法則の意味を理解し、脱脂綿の発火など、具体的な現象に適用して考察しようとする。エネルギーとその移り変わりについて、日常での利用例と関連させて理解しようとする。	熱効率と熱機関、熱力学第一法則	2	【知】熱力学の第1法則を用いて、内部エネルギーの変化、外部とやりとりする仕事、熱を計算することができる。熱機関のしくみを学び、熱効率を計算することができる。 【思】熱機関の基本的なしくみを理解し、その特徴を説明することができる。エネルギーの利用例について、日常のさまざまな現象や現象と結びつけて理解している。 【学】熱力学の第1法則の意味を理解し、脱脂綿の発火など、具体的な現象に適用して考察しようとする。エネルギーとその移り変わりについて、日常での利用例と関連させて理解しようとする。	単元テスト 実験レポート提出物 期末考査	●	●	●	●	●	
	波の基本 【知】波と媒質・波の伝わり方を理解する。波の速さや振動数、波長など、基本的な波に関する物理量について理解する。 【思】波源や媒質が何かを考察し、波源の振動の仕方によってどのような波の速さや振動数、波長が表されるかを表す。y-xグラフ、y-tグラフの違いを理解し、一方のグラフからもう一方のグラフを描く。 【学】さまざまな種類の波があることを理解しようとする。波が伝わるようすを意欲的に観察しようとする。y-xグラフ、y-tグラフを自らの力で描こうと努力している。	波の基本的な変数や性質、進み方、作図	2	【知】波と媒質・波の伝わり方を理解している。波の速さや振動数、波長など、基本的な波に関する物理量について理解している。 【思】波源や媒質が何かを考察し、波源の振動の仕方によってどのような波の速さや振動数、波長が表されるかを表す。y-xグラフ、y-tグラフの違いを理解し、一方のグラフからもう一方のグラフを描くことができる。 【学】さまざまな種類の波があることを理解している。波が伝わるようすを意欲的に観察できる。y-xグラフ、y-tグラフを自らの力で描ける。	単元テスト 実験レポート提出物 期末考査	●	●	●	●	●	
	縦波と横波 【知】横波と縦波の定義を理解する。 【思】横波、縦波の違いを理解し、縦波を横波のように表示できる。 【学】横波、縦波の違いを理解し、縦波をどのようにグラフに表せるかを考えている。	縦波と横波、縦波の横波表示	1	【知】横波と縦波の定義を理解している。 【思】横波、縦波の違いを理解し、縦波を横波のように表示できる。 【学】横波、縦波の違いを理解し、縦波をどのようにグラフに表せるかを考えている。	単元テスト 実験レポート提出物 期末考査	●	●	●	●	●	
		1学期期末考査		1							

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	[知]	[思]	[主]			
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週）	波の重ね合わせ 【知】2つの波が重なりあったときの作図ができる。 【思】波の重ね合わせ、波の独立性を踏まえ、2つの波によって生じる波形を表現することができる。 【学】波動実験器などを用いた実験において、波が重なるようすや通り過ぎるようすをよく観察し、どのような性質があるかを考察している。	波の重ね合わせの原理 作図	2	【知】2つの波が重なりあったときの作図ができる。 【思】波の重ね合わせ、波の独立性を踏まえ、2つの波によって生じる波形を表現することができる。 【学】波動実験器などを用いた実験において、波が重なるようすや通り過ぎるようすをよく観察し、どのような性質があるかを考察できる。	単元テスト 実験レポート提出物 期末考査	● ●	● ● ●	● ●			
		定常波 【知】定常波ができる条件を理解している。 【思】定常波の特徴を踏まえ、進行波の波長や腹、節の位置などを求めることができる。 【学】波動実験器などを用いた実験において、波が重なるようすや通り過ぎるようすをよく観察し、どのような性質があるかを考察している。	定常波 作図	1	【知】定常波ができる条件を理解している。 【思】定常波の特徴を踏まえ、進行波の波長や腹、節の位置などを求めることができる。 【学】波動実験器などを用いた実験において、波が重なるようすや通り過ぎるようすをよく観察し、どのような性質があるかを考察できる。	単元テスト 実験レポート提出物 期末考査	● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●		
		反射 【知】反射の仕方を理解し、反射波の作図をすることができる。 【思】自由端、固定端のそれぞれにおいて、正弦波の反射によって定常波が生じることを説明できる。 【学】自由端、固定端での反射の仕方を、観察などを通して物理学的に説明しようとする。	2種類の反射 作図	2	【知】反射の仕方を理解し、反射波の作図をすることができる。 【思】自由端、固定端のそれぞれにおいて、正弦波の反射によって定常波が生じることを説明できる。 【学】自由端、固定端での反射の仕方を、観察などを通して物理学的に説明できる。	単元テスト 実験レポート提出物 期末考査	● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●		
		音波 【知】音波（疎密波）の音速と気圧の関係を式で表すことができる。波形により音の振動数、大きさを比べる。うなりの観測から回数測定する。 【思】音の高さ、大きさが音波の波形の何で表されるかを理解する。二つのおんさの振動数からうなりの振動数を求める。 【学】現象と結びつけ、音の伝わるようすや音が波であることの特徴を理解しようとする。うなりの観測を通じて、うなりが生じるしくみを主体的に理解しようとする。	音の三要素、うなり	2	【知】音波（疎密波）の音速と気圧の関係を式で表すことができる。波形により音の振動数、大きさを比べる。うなりの観測から回数測定することができる。 【思】音の高さ、大きさが音波の波形の何で表されるかを理解する。二つのおんさの振動数からうなりの振動数を求めることができる。 【学】現象と結びつけ、音の伝わるようすや音が波であることの特徴を理解している。うなりの観測を通じて、うなりが生じるしくみを主体的に理解している。	単元テスト 実験レポート提出物 期末考査	● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●		
		弦の振動 【知】弦に生じる定常波の波長や振動数を式で計算することができる。 【思】弦の振動における波長や振動数の関係を式で導く。弦の固有振動数が張力と線密度とどんな関係にあるかを考察する。 【学】楽器から出る音のしくみなどに関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。弦の固有振動数の探究など、積極的に実験活動に取り組んでいる。	楽器の分析、弦の振動、n倍振動	2	【知】弦に生じる定常波の波長や振動数を式で計算することができる。 【思】弦の振動における波長や振動数の関係を式で導くことができる。弦の固有振動数が張力と線密度とどのような関係にあるかを考察できる。 【学】楽器から出る音のしくみなどに関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。弦の固有振動数の探究など、積極的に実験活動に取り組んでいる。	単元テスト 実験レポート提出物 期末考査	● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●		
		気柱の振動 【知】気柱が振動するときの定常波の波長や振動数を式で計算する。共振、共鳴がおこるしくみを理解する。 【思】閉管と開管の違いを理解し、固有振動で生じる波長と振動数の関係を式で導く。気柱共鳴装置を用いた探究などを通じて、おんさの振動数を測定する。 【学】気柱共鳴装置を用いた実験に積極的に取り組んでいる。	気柱の振動、共鳴実験【富士未来学と関連】	3	【知】気柱が振動するときの定常波の波長や振動数を式で計算することができる。共振、共鳴がおこるしくみを理解する。 【思】閉管と開管の違いを理解し、固有振動で生じる波長と振動数の関係を式で導くことができる。気柱共鳴装置を用いた探究などを通じて、おんさの振動数を測定することができる。 【学】気柱共鳴装置を用いた実験に積極的に取り組んでいる。	単元テスト 実験レポート提出物 期末考査	● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●		
			2学期期末考査	1								
		主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週）	物理：ベクトル、平面運動 【知】ベクトルを学ぶ。速度の合成や、相対速度を平面の場合で観察し、それぞれを式で表す。 【思】変位、速度を用いて、さまざまな物体の運動を説明する。 【学】身のまわりの物体の運動に関心を示し、位置や変位、速度を理解しようとする。	ベクトル、平面での速度の合成、相対速度	3	【知】ベクトルを学ぶ。速度の合成や、相対速度を平面の場合で観察し、それぞれを式で表すことができる。 【思】変位、速度を用いて、さまざまな物体の運動を説明することができる。 【学】身のまわりの物体の運動に関心を示し、位置や変位、速度を理解しようとする。	単元テスト 実験レポート提出物 期末考査	● ●	● ● ●	● ● ●	
				物理：等加速度直線運動と放物運動 【知】等加速度運動の関係式を導く。記録タイマーの使い方を理解し、得られた打点結果から加速度を求めることができる。落下する物体の運動は、鉛直下向きの加速度をもつ等加速度運動であることを理解する。 【思】物体の位置と時間などの関係をもとに、グラフを描く。落下運動の特徴を理解し、式やグラフを用いて表現できる。 【学】斜面を下る力学台車の加速度の測定など、積極的に実験に取り組んでいる。物体が落下するときのようすなどに関心を持ち、それらの現象を物理的に考えようとする。	等加速度直線運動と加速度の測定実験、放物運動【富士未来学と関連】	5	【知】等加速度運動の関係式を導くことができる。記録タイマーの使い方を理解し、得られた打点結果から加速度を求めることができる。落下する物体の運動は、鉛直下向きの加速度をもつ等加速度運動であることを理解する。 【思】物体の位置と時間などの関係をもとに、グラフを描くことができる。落下運動の特徴を理解し、式やグラフを用いて表現できる。 【学】斜面を下る力学台車の加速度の測定など、積極的に実験に取り組んでいる。物体が落下するときのようすなどに関心を持ち、それらの現象を物理的に考えようとする。	単元テスト 実験レポート提出物 期末考査	● ●	● ● ●	● ● ●	
					3学期期末考査	1						

令和4年度 年間授業計画 (評価計画)

東京都立富士高等学校

教科	理科	科目名	生物基礎	対象学年	1年	単位数	1単位	観点別評価			
使用教科書	生物基礎 (東京書籍)			教科担当	A組:塩入 直也 B組:塩入 直也 C組:塩入 直也			知識・技能	主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	
補助教材	スクエア最新図説生物 (第一学習社) リードLightノート生物基礎 (数研出版) ベストフィット生物基礎 (実教出版)										
教科の目標	【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。										
科目の目標	【知識及び技能】日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。										
学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法						
主な学習内容と授業時数	1学期	第1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 【知】基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。 【思】問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。	1章 生物の多様性と共通性 1 生物の多様性 2 生物の共通性 3 細胞の特徴	3	【知】生物の特徴について、「生物の共通性と多様性」の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】「生物の共通性と多様性」について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】「生物の共通性と多様性」に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。	提出物・実験レポート 期末考査・確認テスト	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	
											授業態度
	1学期	第1編 生物の特徴 2章 生物とエネルギー 【知】基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。 【思】問題を見出し見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。	2章 生物とエネルギー 1 生体とATP 2 生体内の化学反応 3 呼吸と光合成	3	【知】生物の特徴について、「生物とエネルギー」の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】「生物とエネルギー」について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】「生物とエネルギー」に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。	提出物・実験レポート 期末考査・確認テスト	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	
											授業態度
	1学期	第2編 遺伝子とそのはたらき 1章 遺伝情報とDNA 【知】基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。 【思】問題を見出し見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。	1章 遺伝情報とDNA 1 生物と遺伝子 2 DNAの構造 3 DNAの複製と分配	3	【知】遺伝子とそのはたらきについて、「遺伝情報とDNA」の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】「遺伝情報とDNA」について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】「遺伝情報とDNA」に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。	提出物・実験レポート 期末考査・確認テスト	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	
											授業態度
	1学期	第2編 遺伝子とそのはたらき 2章 遺伝情報とタンパク質 【知】基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。 【思】問題を見出し見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。	2章 遺伝情報とタンパク質 1 タンパク質 2 DNAとタンパク質の合成 3 細胞分化と遺伝子	3	【知】遺伝子とそのはたらきについて、「遺伝情報とタンパク質」の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】「遺伝情報とタンパク質」について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】「遺伝情報とタンパク質」に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。	提出物・実験レポート 期末考査・確認テスト	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	
											授業態度
		1学期期末考査		1							
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】		
主な学習内容と授業時数	2学期	第3編 ヒトの体の調節 1章 体内環境と情報伝達 【知】基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。 【思】問題を見出し見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。	1章 体内環境と情報伝達 1 体内環境 2 神経系による情報伝達 3 ホルモンによる情報伝達 4 血糖濃度の調節	7	【知】ヒトの体の調節について、「体内環境と情報伝達」の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】「体内環境と情報伝達」について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】「体内環境と情報伝達」に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。	提出物・実験レポート 期末考査・確認テスト	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	
											授業態度
	1学期	第3編 ヒトの体の調節 2章 免疫のはたらき 【知】基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。 【思】問題を見出し見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。	2章 免疫のはたらき 1 免疫のしくみ 2 免疫記憶 3 免疫とさまざまな疾患	5	【知】ヒトの体の調節について、「免疫のはたらき」の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】「免疫のはたらき」について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】「免疫のはたらき」に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。	提出物・実験レポート 期末考査・確認テスト	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	
											授業態度
	2学期期末考査		1								
学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】			
主な学習内容と授業時数	3学期	第4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移 【知】基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。 【思】問題を見出し見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。	1章 植生と遷移 1 植生とその環境 2 植生の遷移 3 遷移とバイオーム	4	【知】生物の多様性と生態系について、「植生と遷移」の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】「植生と遷移」について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】「植生と遷移」に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。	提出物・実験レポート 期末考査・確認テスト	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	
											授業態度
	9週	第4編 生物の多様性と生態系 2章 生態系と生物の多様性 【知】基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。 【思】問題を見出し見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。	2章 生態系と生物の多様性 1 生態系における生物の多様性 2 生態系における生物間の関係 3 生態系と攪乱 4 生態系の保全	4	【知】生物の多様性と生態系について、「生態系と生物の多様性」の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】「生態系と生物の多様性」について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主】「生態系と生物の多様性」に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。	提出物・実験レポート 期末考査・確認テスト	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	
											授業態度
	3学期期末考査		1								

令和4年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科	理科	科目名	地学基礎	対象学年	1年	単位数	2単位	観点別評価			
使用教科書	地学基礎（数研出版）			教科担当	A組：宮澤 良美 B組：宮澤 良美 C組：宮澤 良美			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
補助教材	スクエア最新地学図説（第一学習社） リードα地学基礎（数研出版）										
教科の目標	【知識及び技能】 自然の事物現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 観察・実験などにより、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。										
科目の目標	【知識及び技能】 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な基本的技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 資料に基づく分析、観察・実験などを通し、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 地球や地球を取り巻く環境について主体的に関わり、科学的に探究する態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。										
学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法						
主な学習内容と授業時数	1 単元名 活動する地球 【知】 地球自体及びプレートの動きについて体系的に理解し、理学的に処理する技能を身につける。 【思】 地球自体及びプレートの動きについて、表などから分析することにより、思考・判断し、表現する力を養う。 【学】 地球自体及びプレートの動きについて、興味・関心を持つとともに、問題解決の過程を振り返り考察を深める。	地球の構造 ・地球の形と大きさ ・地球の構造 プレートの運動 ・プレートテクトニクスと地学変動 ・プレートの運動のしかた	12	【知】 地球の構造、プレートの運動により地殻変動が起こることを理解させる。 【思】 資料分析・観察等により、地球の構造、プレートの運動について判断ができる。 【主】 地殻変動について興味・関心を持ち、グローバルな視野から捉えることができる。	レポート・提出物 期末考査・小テスト 授業態度						
	1 3 単元名 活動する地球 【知】 地震や火山の仕組みについて理解する。 【思】 地震や火山に関する資料に基づいて、科学的に探究する力を養う。 【学】 地震や火山の仕組みについて興味・関心を持ち、災害に備える態度を養う。	地震 ・地震のしくみ ・地震の分布 ・地震災害 火山 ・火山活動 ・火成岩 ・火山がもたらす恵みと災害	13	【知】 地震や火山の仕組みについて理解することができる。 【思】 資料分析、実験・観察等により、地震や火山について特徴について表現することができる。 【主】 地震や火山について興味・関心を持ち、日常生活と結びつけることができる。	レポート・提出物 期末考査・小テスト 授業態度						
	1学期期末考査			1							
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】		
主な学習内容と授業時数	2 単元名 移り変わる地球 【知】 地層の形成、古生物の変遷について理解し、組み立てる力を養う。 【思】 過去の地球について、地球の活動の特徴とつかみ、歴史的見地から表現することができる。 【学】 過去の地球について興味・関心を持つとともに、歴史的に捉えることができる。	地層の形成 ・堆積作用と堆積岩 ・地層の形成構成 生物の変遷と地球環境 ・化石と地質年代の区分 ・古生物の変遷	13	【知】 地層の形成、古生物の変遷について理解することができる。 【思】 資料分析・観察等により、過去の地球について組み立て、表現することができる。 【主】 過去の地球について興味・関心を持ち、現在の地球の環境や地殻変動について捉えることができる。	レポート・提出物 期末考査・小テスト 授業態度						
	1 3 単元名 大気と海洋 【知】 大気と海洋について、縦の構造及び釣り合いについて理解する。 【思】 資料や実験・観察に基づいて、大気と海洋について科学的に探究する力を養う。 【学】 大気と海洋について興味・関心を持ち、日常生活に生かす態度を養う。	地球の熱収支 ・大気の構造 ・地球船体の熱収支 大気と海水の運動 ・大気の大循環 ・海水の運動 ・日本の天気と気象災害	12	【知】 大気と海洋について、構造及び地球規模での釣り合いについて理解することができる。 【思】 資料分析、実験・観察等により、大気と海洋について分析・判断を行い、表現することができる。 【主】 大気と海洋について興味・関心を持ち、日常生活と結びつけることができる。	レポート・提出物 期末考査・小テスト 授業態度						
	2学期期末考査			1							
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】		
主な学習内容と授業時数	3 単元名 地球の環境 【知】 地球環境についてその仕組みを理解する力を養う。 【思】 地球規模の地球環境に関する資料に基づいて、地球環境の変化を判断し、表現することができる。 【学】 地球環境と人間生活の関わりについて捉えることができる。	地球の環境と日本の自然環境 ・気候の自然変動 ・人間活動による環境変化 ・日本の自然環境	12	【知】 地球環境について理解することができる。 【思】 資料分析・観察等により、地球環境の変化を判断し表現することができる。 【主】 地球環境と人間生活との関わりについて、日常生活で生かすことができる。	レポート・提出物 期末考査・小テスト 授業態度						
	9 単元名 太陽系と宇宙 【知】 宇宙に関する事物・現象について理解し、実験・観察により技能を身につける。 【思】 資料や実験・観察に基づいて、宇宙に関する事物・現象について科学的に探究する力を養う。 【学】 宇宙に関する事物・現象について興味・関心を持ち、日常生活に取り入れる態度を養う。	太陽系と太陽 ・太陽系の天体 ・太陽 ・太陽系の誕生と現在の地球 宇宙の誕生	5	【知】 宇宙に関して、構造及び成り立ちを理解することができる。 【思】 資料分析、実験・観察等により、宇宙に関して分析・判断を行い、表現することができる。 【主】 宇宙に関して興味・関心を持ち、日常生活の中に生かすことができる。	レポート・提出物 期末考査・小テスト 授業態度						
	3学期期末考査			1							
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】		

令和4年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科	保健体育	科目名	体育	対象学年	1年	単位数	2単位	観点別評価			
使用教科書	新高等保健体育（大修館）			教科担当	A組：中島由香里、西村猛、半谷亮介、宋強賢 B組：中島由香里、西村猛、半谷亮介、宋強賢 C組：中島由香里、西村猛、半谷亮介、宋強賢			知識・技能	主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	
補助教材	なし										
教科の目標	【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。										
科目の目標	【知識及び技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。										
学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法						
主な学習内容と授業時数	球技 【知】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	テニス・サッカー・バレーボール・卓球 ・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をする。 ・ネット型では、ボールや用具の操作と定位位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。	8	【知】 球技では、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 ・体づくり運動では、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。 【思】 球技では、攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・体づくり運動では、自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主】 球技では、球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保している。	提出物	●	●	●			
					実技試験	●	●	●			
	体づくり運動 【知】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。 【思】 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【学】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。	体づくりの運動・実生活に生かす運動の計画 ・体づくりの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合う。 ・実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組む。	7	【主】 球技では、球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保している。 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保している。	提出物	●	●	●			
					実技試験	●	●	●			
	水泳 【知】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学】 生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。	4 泳法 スタート・ターン ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐ。 ・バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐ。 ・複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをする。	4	【知】 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するための多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。 【思】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保している。	提出物	●	●	●			
					実技試験	●	●	●			
	体育理論 【知】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する。 【思】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。 【主】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組む。	スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展 ・スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。 ・現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせること。 ・現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高齢化などが一層求められること。 ・スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められること。	6	【知】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できる。 【思】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組んでいる。	提出物	●	●	●			
					実技試験	●	●	●			
			1 学期期末考査	1							

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週）	球技2 【知】運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 【思】自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【学】生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。	テニス・サッカー・バレーボール・卓球 ・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をする。 ・ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。	8	【知】武道 ・伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解できる。 ・基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができる。 【思】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主】・武道に自主的に取り組む ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。	提出物	●	●	●
		球技3 【知】運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 【思】自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【学】生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。	バスケットボール ・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をする。	7	【主】 ・自己の責任を果たそうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・健康・安全を確保している。	実技試験	●		●
		武道 【知】技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開すること。 【思】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学】武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	薙刀 薙刀では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をする。	5		提出物	●	●	●
		水泳 【知】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思】泳法などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学】生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。	4泳法 スタート・ターン ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐ。 ・バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐ。 ・複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをする。	5	【知】記録の向上や競争及び自己やチームの課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己やチームの課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 【主】水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保している。	提出物	●	●	●
			2学期期末考査	1		実技試験	●		●
						グループ学習		●	●
						提出物	●	●	●
						実技試験	●		●
						グループ学習		●	●
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週）	球技4 【知】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。	ニュースポーツ ・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をする。 ・ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。 ・体づくり運動では、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。 【思】自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 【主】体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保している。	9		提出物	●	●	●
		陸上競技 【知】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思】動きなどの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	・短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡いで次走者のスピードを十分高める。長距離走では、自己に適したペースを維持して走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すこと。 ・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶこと、走り高跳びでは、リズムカナル助走から力強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶこと。	8	【知】・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わうことができる。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解できる。 ・各種目特有の技能を身に付けている。 【思】動きなどの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主】・陸上競技に自主的に取り組んでいる。 ・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。	提出物	●	●	●
						実技試験	●		●
						グループ学習		●	●
						提出物	●	●	●
						実技試験	●		●
						グループ学習		●	●
						提出物	●	●	●
						実技試験	●		●
						グループ学習		●	●
				3学期期末考査	1				

令和4年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科	保健体育	科目名	保健	対象学年	1年	単位数	1単位	観点別評価		
使用教科書	新高等保健体育（大修館書店）			教科担当	A組：長 明日香 B組：長 明日香 C組：長 明日香			知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度		
補助教材	なし									
教科の目標	【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。									
科目の目標	【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。									
学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法					
主な学習内容と授業時数	1学期	オリエンテーション	・年間をとおして学ぶ内容についての理解 ・評価について	1	【主】保健の授業について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査				
		現代社会と健康 【知】現代社会と健康について個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 【思】生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学】現代社会と健康について、生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	日本における健康課題の変遷	【知】健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方にに基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	5	【主】保健の授業について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	●	●	●
			健康の考え方と成り立ち	【知】健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方にに基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	5	【主】保健の授業について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	●	●	●
	ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり		【知】健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方にに基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	5	【主】保健の授業について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	●	●	●	
	健康に関する意思決定・行動選択		【知】健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方にに基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	5	【主】保健の授業について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	●	●	●	
	現代における感染症の問題		【知】感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O157等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であること、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。	4	【主】保健の授業について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	●	●	●	
	感染症の予防		【知】感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O157等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であること、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。	4	【主】保健の授業について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	●	●	●	
	性感染症・エイズとその予防		【知】感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O157等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であること、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。	4	【主】保健の授業について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	●	●	●	
	生活習慣病の予防と回復		【知】生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思】生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。	2	【主】生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	●	●	●	
	身体活動・運動と健康		【知】生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思】生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。	2	【主】生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	●	●	●	
	1学期期末考査				1					

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】	
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週 ）	現代社会と健康 【知】現代社会と健康について個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 【思】生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学】現代社会と健康について、生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	食事と健康	3	【知】・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思】・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【主】・生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	●	●		
						ノート	●	●	●	
						グループワーク		●	●	
				休養・睡眠と健康	3	【知】・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思】・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。 【主】・喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	●	●	
				ノート			●	●	●	
				グループワーク				●	●	
				がんの予防と回復	3	【知】・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思】・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【主】・生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	●	●	
				ノート			●	●	●	
				グループワーク				●	●	
				喫煙と健康	5	【知】・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思】・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。 【主】・喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	●	●	
				ノート			●	●	●	
				グループワーク				●	●	
				飲酒と健康	5	【知】・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思】・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。 【主】・喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	●	●	
				ノート			●	●	●	
	グループワーク		●	●						
	薬物乱用と健康	5	【知】・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思】・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。 【主】・喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	●	●				
	ノート			●	●	●				
	グループワーク				●	●				
	精神疾患の特徴	4	【知】・精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物学的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害などは、誰もが罹患しうること、若年で発症する疾患が多いこと、適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思】・精神疾患の予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【主】・精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	●	●				
	ノート			●	●	●				
	グループワーク				●	●				
	精神疾患への対応	4	【知】・精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物学的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害などは、誰もが罹患しうること、若年で発症する疾患が多いこと、適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思】・精神疾患の予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【主】・精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	●	●				
	ノート			●	●	●				
	グループワーク				●	●				
		2学期期末考査		1						

学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】	
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	事故の現状と発生要因	4	<p>【知】・交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思】・安全な社会づくりについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>・安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。</p> <p>・交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。</p> <p>・安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主】・安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	定期考査	●	●		
		交通事故防止の取り組み			ノート	●	●	●	
		安全な社会の形成			グループワーク		●	●	
		安全な社会生活	<p>【知】安全な社会生活について個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思】安全な社会生活に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。</p> <p>【学】安全な社会生活について、生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	4	<p>【思】・応急手当について、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>・応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。</p> <p>・応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【知】・心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりし、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。</p> <p>【主】応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	定期考査	●	●	
		応急手当の意義と救急医療体制				ノート	●	●	●
		心肺蘇生法				グループワーク		●	●
		日常的な応急手当	定期考査	●	●				
			ノート	●	●	●			
			グループワーク		●	●			
		3学期期末考査	1						

令和4年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科	芸術	科目名	音楽 I	対象学年	1 年	単位数	2 単位	観点別評価		
使用教科書	教育芸術社「高校生の音楽」			教科担当	B組：竹田 美佳子 C組：竹田 美佳子			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材	クラス合唱用 MY SONG（教育芸術社）									
教科の目標	【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。									
科目の目標	【知識及び技能】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。 【思考力、判断力、表現力等】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。									
学期	単元と指導目標	指導項目・内容	表現 歌 器 創	鑑賞 配当時間	評価規準	評価方法				
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	歌唱「正しい発声、豊かな響き」 【知】曲想と歌詞との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思】音色、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【学】正しい発声を身に付けて表現を創意工夫することに興味をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む、音楽を愛好する心情を養う。	・歌うときの姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方に注意して、音楽表現を工夫して歌唱する ・歌詞の内容を深く捉え、曲想との関わりを理解し、曲のもつ雰囲気や味わいを理解して歌唱する ・旋律の特徴や言葉の抑揚を理解してイメージに合った表現を工夫する	●	4	【知】曲想と歌詞との関わりについて理解することができる。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表すことができる。 【思】音色、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【学】正しい発声を身に付けて表現を創意工夫することに興味をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	プリント提出 観察	●	●	●	
	歌唱「日本語の響き、歌詞や背景の理解」 【知】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表す。 【思】音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【主】歌詞の内容や曲の背景に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	・鼻濁音や s, 音, t 音などの子音に注意し、日本語の美しい発音に留意して歌う ・歌詞の内容を理解し、作曲者の強弱の指示をもとに、ふさわしい表現を工夫して歌う	●	6	【知】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解することができる。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表すことができる。 【思】音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【主】歌詞の内容や曲の背景に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	プリント提出 実技テスト 観察	●	●	●	
	鑑賞「音楽とは」 【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解する。 【思】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 【主】さまざまな音や音楽に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	・身の回りのさまざまな音を聴いて、自分の考える音楽のイメージに当てはまるかどうかを考える ・音楽の目的や、「音楽とは何か」を考える ・《4分 33 秒》を体験したあとで、音楽についても一度話し合う	●	4	【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解することができる。 【思】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【主】さまざまな音や音楽に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	プリント提出 観察	●	●	●	
	歌唱「詩にふさわしい表現」 【知】曲想や歌詞の内容や表現上の効果との関わりについて、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表す。 【思】音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴き、どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【主】歌詞の内容と作詞者と作曲者の思いに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	・歌詞の内容、各楽章の関連や位置付けを理解する ・《大地讃頌》に込められた思いを考える ・オーケストラ版とピアノ伴奏版の《大地讃頌》の表現の違いを踏まえて合唱表現を工夫する	●	6	【知】曲想や歌詞の内容や表現上の効果との関わりについて、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解することができる。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 【思】音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴き、どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【主】歌詞の内容と作詞者と作曲者の思いに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	プリント提出 実技テスト 観察	●	●	●	
創作「コード進行と創作」 【知】音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。 ・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能、及び旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付け、創作で表す。 【思】音色、リズム、旋律、テクスチャ、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもつ。 【主】音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。	・コードの構成音をもとに音の組み合わせ方やつなげ方を試しながら、自分の表したいイメージに合うメロディーをつくる ・反復、変化などの手法を用いてメロディーをつくったり、つくったメロディーにもう一つのメロディーを重ねたりする技能を身に付ける	●	6	【知】音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解することができる。 ・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能、及び旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付け、創作で表すことができる。 【思】音色、リズム、旋律、テクスチャ、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもつ。 【主】音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	プリント提出 観察 作品提出	●	●	●		
	1 学期期末考査									

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞 配当時間	評価規準	評価方法	【※1】	【※2】	【※3】		
				歌	器	創								
主な学習内容と授業時数	2学期	鑑賞「日本の伝統芸能に親しむ」 【知】謡の曲想と音楽の構造や詞章、文化的・歴史的背景との関わり、及び謡の言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。能の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解する。 【思】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を覚直し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【主】能の音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	・日本音楽の流れや、雅楽、能、歌舞伎、文楽の音楽様式や歴史的背景を学ぶ。 ・それぞれの芸能のあらすじを知り鑑賞する。				4	【知】音楽の構造や詞章、文化的・歴史的背景との関わり、及び謡の言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。能の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解することができる。 【思】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を覚直し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【主】それぞれの音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	プリント提出 観察 確認テスト	● ● ●	● ● ●	● ● ●		
		歌唱「詞に込められた主張を理解して歌う」 【知】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。創意工夫を生かした歌唱表現や楽器表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして歌ったり演奏したりする技能を身に付け、歌唱や楽器で表す。 【思】音色、リズム、旋律を覚直し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように歌ったり演奏するかについて表現意図をもっている。 【主】ポピュラー音楽や音楽の著作権に関心をもち、主体的・協働的に歌唱及び楽器の学習活動に取り組む。	・ポピュラー音楽のジャンルを理解する。 ・英語歌詞の内容について、その背景を含めて理解する。 ・歌詞の内容にふさわしい表現を創意工夫して演奏する。 ・芸術活動を支える著作権について理解する。				6	【知】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。創意工夫を生かした歌唱表現や楽器表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして歌ったり演奏したりする技能を身に付け、歌唱や楽器で表すことができる。 【思】音色、リズム、旋律を覚直し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように歌ったり演奏するかについて表現意図をもっている。 【主】ポピュラー音楽や音楽の著作権に関心をもち、主体的・協働的に歌唱及び楽器の学習活動に取り組もうとしている。	プリント提出 観察	● ●	● ●	● ●		
		楽器「三味線の歴史と奏法を学ぶ」 【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。創意工夫を生かした楽器表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、楽器で表す。 【思】音色、リズム、旋律、強弱を覚直し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【主】三味線や三味線の音楽、唱歌などに関心をもち、主体的・協働的に楽器の学習活動に取り組む。	・縦譜の読み方や箏の構造、奏法を学ぶ。 ・「さくらさくら」の唱歌を歌い、旋律の動きを理解する。 ・唱歌と三味線の奏法との関わりを理解し、唱歌を歌いながら箏を練習する。 ・余韻の変化や間などを理解し、表現を工夫して演奏する。				8	【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。創意工夫を生かした楽器表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、楽器で表すことができる。 【思】音色、リズム、旋律、強弱を覚直し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【主】箏や箏の音楽、唱歌などに関心をもち、主体的・協働的に楽器の学習活動に取り組もうとしている。	プリント提出 観察 実技テスト	● ● ●	● ● ●	● ● ●		
		歌唱「外国語の曲の特徴をとらえて歌う」 【知】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思】リズム、旋律を覚直し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主】イタリア語やドイツ語による歌唱や曲の雰囲気を生かした表現に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	・イタリア語やドイツ語の発音の特徴を理解する。 ・イタリア語やドイツ語のアクセントやリズムと旋律との関わりを理解する。 ・歌詞の内容を理解し、表現を工夫して歌う。				8	【知】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表すことができる。 【思】リズム、旋律を覚直し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主】外国語による歌唱や曲の雰囲気を生かした表現に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	プリント提出 観察 実技テスト	● ● ●	● ● ●	● ● ●		
		2学期期末考査												
主な学習内容と授業時数	3学期	鑑賞「オペラに親しむ」 【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて及び文化的・歴史的背景について理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思】音色、リズム、旋律、テクスチャを覚直し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いたり、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主】オペラに描かれた社会のあり方に関心をもち、主体的・協働的に歌唱及び鑑賞の学習活動に取り組む。	・『椿姫』のあらすじと登場人物の心情、当時の社会背景を理解する。 ・各幕の代表的な場面を鑑賞し、登場人物の心情がどのように描かれているかについて話し合う。 ・〈乾杯の歌〉をイタリア語で歌う。				3	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて及び文化的・歴史的背景について理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表すことができる。 【思】音色、リズム、旋律、テクスチャを覚直し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いたり、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主】オペラに描かれた社会のあり方に関心をもち、主体的・協働的に歌唱及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	プリント提出 観察 確認テスト	● ● ●	● ● ●	● ● ●		
		鑑賞「ベートーヴェン第9番」 【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解する。 【思】音色、リズム、旋律、形式、構成を覚直し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、曲に自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 【主】曲の構成や音楽に込められた作曲者の思いに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	・曲の構成や歌詞の内容を理解する。 ・独唱、四重唱、合唱を伴った壮大なオーケストラの世界を味わう。 ・この曲に込められた作曲者の思いを話し合う。 ・歓喜の歌をドイツ語で歌う。				7	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解することができる。 【思】音色、リズム、旋律、形式、構成を覚直し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、曲に自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【主】曲の構成や音楽に込められた作曲者の思いに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	プリント提出 観察 確認テスト	● ● ●	● ● ●	● ● ●		
		楽器「ギター」 【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。創意工夫を生かした楽器表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、楽器で表している。 【思】音色、リズム、旋律、強弱を覚直し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【主】ギターやギターの音楽などに関心をもち、主体的・協働的に楽器の学習活動に取り組もうとしている。	・ギターの構造、タブ譜の読み方や奏法を学ぶ。 ・コード奏法、アルアイレ奏法、アポヤンド奏法を理解する。 ・「カントリーロード」を歌いながらギターを練習する。				8	【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。創意工夫を生かした楽器表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、楽器で表すことができる。 【思】音色、リズム、旋律、強弱を覚直し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【主】ギターやギターの音楽などに関心をもち、主体的・協働的に楽器の学習活動に取り組もうとしている。	プリント提出 観察 実技テスト	● ● ●	● ● ●	● ● ●		
		3学期期末考査												

令和4年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		芸術		科目名		美術 I		対象学年	1年	単位数	2単位	観点別評価		
使用教科書		光村図書出版美術 1						教科担当	A組：川崎 愛子 B組：川崎 愛子 C組：川崎 愛子			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材														
教科の目標		【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。												
科目の目標		【知識及び技能】美術史、画材等の基本的な知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】美術史や画材等の知識を生かし何をどのように表現するか試行錯誤する。 【学びに向かう力、人間性等】美術の知識や経験を生活に取り入れ豊かな心の在り方に努める。												
学期	単元と指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】		
			絵・彫	デ	映									
主な学習内容と授業時数	1 学 期	絵画 素描 【知】 描画材料の扱い方、基本的な描写方法を身につける。 【思】 対象物をよく観察してできるだけ正確に描く。 【主】 完成度を高める。	●				6	【知】 描画材料の扱い方、基本的な描写方法を身に付けている。 【思】 対象物をよく観察してできるだけ正確に描ける。 【主】 完成度を高めようとしている。	提出物	●	●	●		
	1 2	絵画 遠近法 【知】 美術史上の様々な奥行き表現を理解する。 【思】 一点透視図法やその他の奥行き表現を用いて奥行きのある描写をすることができる。 【主】 完成度を高める。	●				10	【知】 美術史上の様々な奥行き表現を理解している。 【思】 一点透視図法やその他の奥行き表現を用いて奥行きのある描写をすることができる。 【主】 完成度を高めようとしている。	提出物	●	●	●		
	2	鑑賞 【知】 模写した作品の内容や作者について調べたレポート用紙にまとめる。 【思】 作品の描かれ方を考えながら丁寧に絵画を模写する。 【主】 完成度を高める。	●				10	【知】 模写した作品の内容や作者について調べたレポート用紙にまとめることができる。 【思】 作品の描かれ方を考えながら丁寧に絵画を模写ができる。 【主】 完成度を高めようとしている。	提出物	●	●	●		
1 学期期末考査														
学期	単元と指導目標	指導項目・内容	絵・彫	デ	映	鑑賞	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】		
主な学習内容と授業時数	2 学 期	デザイン 平面構成 【知】 基本的な色彩理論を理解する。 【思】 デザインや絵画の分野でそれがどのように用いられているか鑑賞する。	●				2	【知】 基本的な色彩理論を理解している。 【思】 デザインや絵画の分野でそれがどのように用いられているか観察しようとしている。	提出物	●	●			
	2	【知】 正多角形等の図形を描く。 【思】 色と形を組み合わせイメージを伝える。 【主】 彩色材料の特徴を理解し丁寧に仕上げる。	●				10	【知】 正多角形等の図形を描くことができる。 【思】 色と形を組み合わせイメージを伝えることができる。 【主】 彩色材料の特徴を理解し丁寧に仕上げようとしている。	提出物	●	●	●		
	1	デザイン 製図 【知】 製図の考え方、作成の方法を理解する。 【知】 三面図から立体図を描く。 【知】 立体を三面図で表す。	●				2	【知】 製図の考え方、作成の方法を理解できる。 【知】 三面図から立体図を描くことができる。 【知】 立体を三面図で表すことができる。	提出物	●				
	2	デザイン 三面図 【知】 図面の決まりを確認し正しい三面図を作成する。 【思】 用途を考え機能性を満たすデザインにする。 【主】 身の回りに置く物として美意識を持ってデザインする。	●				4	【知】 図面の決まりを確認し正しい三面図を作成できる。 【思】 用途を考え機能性を満たすデザインにできる。 【主】 身の回りに置く物として美意識を持ってデザインしようとしている。	提出物	●	●	●		
	2	デザイン 立体 【知】 粘土を使って三面図を参考にペーパーウェイトを作る。 【思】 機能性と美意識の両立した作品を作る。 【主】 高い完成度を目指す。	●				8	【知】 粘土を使って三面図を参考にペーパーウェイトを完成することができる。 【思】 機能性と美意識の両立した作品にしている。 【主】 高い完成度にしようとしている。	提出物	●	●	●		
2 学期期末考査														

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞 配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】	
				漢 仮	漢 仮	漢 仮							
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週 ）	楷書の古典Ⅵ 【知】雁塔聖教序の特徴・内容を知る。 【思】用筆・運筆・構成法をよく観察し、古典の特徴を捉える。 【学】繰り返し練習し、造形の特徴の表現に努める。	古典の臨書 雁塔聖教序 作者の人物像、作品の成立と時代背景	●			2	【知】作者の人物像、作品の成立の時代背景を理解することができる 【思】用筆・造形法を理解し、古典の特徴をよく観察しうまく表現することができる 【主】一枚一枚考えながら、丁寧に作成に集中しようとしている。	観察			●	
									添削	●	●	●	
										作品	●	●	●
			楷書の古典Ⅵ 【知】顔氏家廟碑の特徴・内容を知る。 【思】用筆・運筆・構成法をよく観察し、古典の特徴を捉える。 【学】繰り返し練習し、造形の特徴の表現に努める。	古典の臨書 顔氏家廟碑 作者の人物像、作品の成立と時代背景	●			2	【知】作者の人物像、作品の成立の時代背景を理解することができる 【思】用筆・造形法を理解し、古典の特徴をよく観察しうまく表現することができる 【主】一枚一枚考えながら、丁寧に作成に集中しようとしている。	観察			●
										添削	●	●	●
										作品	●	●	●
			行書 【知】行書の成立、特徴、書風の相違、行書の基本用筆 【思】用筆法をよく理解し、円滑な運筆の習得。 【学】繰り返し練習し、運筆の要領の習得に努める。	行書の歴史と基本用筆と運筆 (回し込み・返し)	●			2	【知】行書の成立、特徴、書風の相違、楷書との変遷的関連、用筆法の相違を理解することができる 【思】行書の流動的造形法を感得し、用筆と運筆に反映することができる 【主】筆使い留意しながら、繰り返し練習しようとしている。	観察			●
									添削	●	●	●	
									作品	●	●	●	
			行書の古典Ⅰ 【知】作者の人物像、作品の成立と時代を背景知る。作品の特徴・内容を。 【思】用筆・運筆・構成法をよく観察し、古典の特徴を捉える。 【学】繰り返し練習し、造形の特徴の表現に努める。	古典の臨書 集王聖教序 (基本用筆及び運筆の充実)	●			6	【知】作者の人物像、作品の成立の時代背景を理解することができる 【思】用筆・造形法を理解し、古典の特徴をよく観察しうまく表現することができる 【主】筆使い留意しながら、繰り返し練習でき内容の充実を図ろうとしている。	観察			●
										添削	●	●	●
										作品	●	●	●
		行書の古典Ⅱ 【知】作品の成立と時代を背景知る。作品の特徴・内容を知る。 【思】用筆・構成法に加え、筆脈を切らないように運筆する。古典の特徴を捉える。 【学】繰り返し練習し、造形の特徴の表現に努める。	古典の臨書 蘭亭序 (基本用筆及び運筆の充実)	●			4	【知】作者の人物像、作品の成立の時代背景を理解することができる 【思】用筆・造形法を理解し、筆脈を取りながら、特徴をよく観察し表現することができる 【主】筆使い留意しながら、繰り返し練習でき内容の充実を図ろうとしている。	観察			●	
									添削	●	●	●	
									作品	●	●	●	
		仮名 【知】仮名の成立、特徴、漢字との関連と相違。仮名の単体及び基本用筆。 【思】用筆法をよく理解し、円滑な運筆の習得。 【学】繰り返し練習し、運筆の要領の習得に努める。	仮名の歴と基本用筆と運筆 (穂先のあたり・回転)			●	4	【知】仮名の成立、特徴、時代背景を理解できたか。仮名という書体を持ったことによる日本文化の歴史的意味を理解することができる。 【思】基本用筆を理解・実践し、単体の形をうまく表現することができる 【主】筆使い留意しながら繰り返し練習でき、一文字一文字丁寧に書こうとしている。	観察			●	
									添削	●	●	●	
									作品	●	●	●	
		仮名の単体 【知】仮名の単体と常用体の相違及び基本用筆。 【思】用筆法をよく理解し、単体の造形と円滑な運筆の習得。 【学】繰り返し練習し、運筆の要領の習得に努める。	仮名の単体の基本用筆と運筆 (穂先のあたり・回転)			●	2	【知】仮名の単体の造形と用筆法が理解することができる 【思】基本用筆を理解・実践し、単体の形をうまく表現することができる 【主】筆使い留意しながら繰り返し練習でき、一文字一文字丁寧に書こうとしている。	観察			●	
									添削	●	●	●	
									作品	●	●	●	
		仮名の連綿 【知】連綿における運筆法及び造形法の理解と習得。変体仮名を知る。 【思】連綿線の方向と長さ、文字の配置の工夫の重要性の理解と実践。 【学】繰り返し練習し、運筆の要領の習得に努める。	仮名の連綿及び基本造形 (運筆と文字の配置)			●	4	【知】連綿の構成法の理解することができる 【思】古典の特色の理解と鑑賞を通して、表現に反映することができる 【主】筆使い留意しながら繰り返し練習でき、滑らかで正確な連綿が実践しようとしている。	観察			●	
									添削	●	●	●	
									作品	●	●	●	
		2学期期末考査											

令和4年度 年間授業計画 (評価計画)

東京都立富士高等学校

教科	外国語 (英語)	科目名	英語コミュニケーション I			対象学年	1年	単位数	3単位	観点別評価		
使用教科書	Element English Communication I					教科担当 A組: 上田 みつ子・松尾 陽介 B組: 上田 みつ子・松尾 陽介 C組: 上田 みつ子・松尾 陽介					主体的に学習に取り組む態度	
補助教材	予習ノート、ワークブック、Focus on Listening、Breakthrough、英字新聞											
教科の目標	<p>【知識及び技能】</p> <p>①学習した内容を活用し、読むこと、聞くことの2技能を使って簡単な文章を理解することができる。</p> <p>②学習した内容を活用し、英語で短い文章を書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①学習した内容の文章、本の概要や要点を理解することができ、既習表現を使って文章を組み立て、英語によるコミュニケーションを図ることができる。</p> <p>②身近な話題について基本的な表現を英語で書いて読者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①世界にある文化、関わる他者が異なることを受け入れ、学習した内容を活用してコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>②基本的な表現を英語で相手に伝えようと挑戦している。</p>											
科目の目標	同上											
学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域				配当時間	評価規準	評価方法			
			聞	読	話(発)	書						
1 学期 1 週	Lesson1 Scidmore's Cherry Trees 【知】①② 【思】①② 【学】②	地図・地形を表す語彙・表現 強弱のリズム・イントネーションを聞き取る 海外の高校生に日本の文化を紹介する計画についての会話の聞き取る Scidmore's Cherry Treesを読み、その内容についてリアレンジを行う。 自分のことについてクラスメイトと情報を伝え合う。アメリカからの交換留学生に、自己紹介のメールを書く 英語の5文型・受動態・to不定詞	●	●	●	●	11	4技能をバランスよく習得している。 ・ Summary 【思】① ・ Retelling 【思】①【知】② ・ Listening 【知】① ・ Writing 【知】②【思】② ・ Reading 【知】① ・ Speaking 【学】②	確認テスト パフォーマンス評価 提出物	●		
	Lesson 2 Love beyond Species 【知】①② 【思】①② 【学】①②	《動物・友情》Christian the Lionを読む ライオンと人間の絆 ライオンと人間との生活が始まった経緯や、野生に返すことになった経緯について理解し、動物と人間の絆について考える。 現在完了、受動態、分詞を活用して自分とペット、生き物との関りについて述べる。 Reading 演習	●	●	●	●	11	4技能をバランスよく習得している。 ・ Summary 【思】① ・ Retelling 【思】①【知】② ・ Listening 【知】① ・ Writing 【知】②【思】② ・ Reading 【知】① ・ Speaking 【学】①②	確認テスト パフォーマンス評価 提出物	●		
	Lesson 3 Contributing to Our Planet 【知】①② 【思】①② 【学】②	エネルギー・公害に関する語彙・表現。消える音・弱くなる音、短縮形を聞き取る。使い捨てのビニール袋とエコバッグのメリット・デメリットを聞き取る。 Bye Bye Plasticsを読む。パリ協定のプラスチック問題についての英文を読み、その内容についてリアレンジを行う。身近な環境問題とその解決策について話し合う。アメリカからの交換留学生に、ボランティアに参加するように誘うメールを書く。関係代名詞・使役動詞	●	●	●	●	11	4技能をバランスよく習得している。 ・ Summary 【思】① ・ Retelling 【思】①【知】② ・ Listening 【知】① ・ Writing 【知】②【思】② ・ Reading 【知】① ・ Speaking 【学】②	確認テスト パフォーマンス評価 提出物	●		
	Further Reading 1 Toward Sustainable Development Goals 【知】①② 【思】① 【学】②	スピーチを読む 平易な英語で書かれた短いスピーチを読んで、必要であれば読み直したりしながら、情報を事実と意見に整理する。	●	●	●	●	3	身近な事柄について平易な英語で書かれた短いエッセイを読んで、概要を理解することができる。 ・ Summary 【思】① ・ Retelling 【思】①【知】② ・ Reading 【知】① ・ Speaking 【学】②	確認テスト パフォーマンス評価 提出物	●		
	Communication in Practice 1 Amusement Park Visit 【学】①②	アミューズメントパークのパンフレットを読む。パンフレットを読み、どの順番でアトラクションやアクティビティ、昼食を回るかについて話し合う。これまでに行ったことのあるアミューズメントパークについての感想を書いて、SNSに投稿する。	●	●	●	●	2	・ Speaking 【学】①②	確認テスト パフォーマンス評価 提出物	●		
	1学期期末考査						1			●	●	

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域				配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
				開	読	話(発)	書						
主な学習内容と授業時数	2	Lesson 4 Messages for World Peace 【知】①② 【思】①② 【学】②	(戦争・平和) Twice Bombed, Twice survivedを読む。 広島・長崎の二重被爆者山口さんの平和への思い、被爆体験者の話や伝え方と理由を理解する。 分詞、知覚・使役動詞、過去完了を活用し、自分の人生に影響を与えた人物・本・映画について述べる。 Reading 演習	●	●	●	●	10	4 技能をバランスよく習得している。 ・ Summary 【思】① ・ Retelling 【思】① 【知】② ・ Listening 【知】① ・ Writing 【知】② 【思】② ・ Reading 【知】① ・ Speaking 【学】②	確認テスト	●		
			パフォーマンス評価		●	●							
	Lesson 5 Respecting Each Other 【知】①② 【思】①② 【学】①②	野球に関する語彙・表現 身近な人や物について話している会話を聞き取る Nobody's Perfectを読む。 野球の投手と読者を行った審判についての物語を読む。その内容についてリテリングを行う。イラストを見て、状況を説明する。示された状況に沿って感謝の気持ちを伝えるとともに行事に招待する。困難な状況にある友人を勇気づける電子メールを書く。 関係代名詞のwhat・関係副詞	●	●	●	●	11	4 技能をバランスよく習得している。 ・ Summary 【思】① ・ Retelling 【思】① 【知】② ・ Listening 【知】① ・ Writing 【知】② 【思】② ・ Reading 【知】① ・ Speaking 【学】①②	確認テスト	●			
	パフォーマンス評価		●	●									
	Lesson 6 Language and Culture 【知】①② 【思】①② 【学】②	英文の書き方に関する語彙・表現 ラジオニュースを聞き取る The Power of Wordsを読む 作家のスピーチを読む。その内容についてリテリングを行う。好きなアニメや映画、映画について発表する。相手の話に対して興味があることを示す。日本文化が楽しめる場所を例示しながら説明する文章を書く。関係代名詞の非限定用法・分詞構文	●	●	●	●	11	4 技能をバランスよく習得している。 ・ Summary 【思】① ・ Retelling 【思】① 【知】② ・ Listening 【知】① ・ Writing 【知】② 【思】② ・ Reading 【知】① ・ Speaking 【学】②	確認テスト	●			
	パフォーマンス評価		●	●									
3	Further Reading 2 Pictures without Shadows 【知】①② 【思】① 【学】②	エッセイを読む。	●	●	●	●	3	身近な事柄について平易な英語で書かれた短いエッセイを読んで、概要を理解することができる。 ・ Summary 【思】① ・ Retelling 【思】① 【知】② ・ Reading 【知】① ・ Speaking 【学】②	確認テスト	●			
パフォーマンス評価		●	●										
Communication in Practice 1 Amusement Park Visit 【学】①②	国際ボランティアに関するお知らせを読む ウェブサイトの情報を読み、どのボランティアに参加するかを話し合う。 国際ボランティアへの申し込みフォームに記入する。	●	●	●	●	3	・ Speaking 【学】①②	確認テスト	●				
パフォーマンス評価		●	●										
		2学期期末考査					1			●	●		
主な学習内容と授業時数	3	Lesson 7 Technology and Discoveries 【知】①② 【思】①② 【学】②	実験室に関する語彙 科学イベントのスケジュールと講演の内容を聞き取る。Serendipityを読む。偶然の発見による発明についての説明文を読み、その内容についてリテリングを行う。歴史上最も偉大な発明は何かについて話し合う。電子書籍より紙の書籍を好む理由を対比しながら書く。形式主語のit・be動詞の補語になるthat節	●	●	●	●	11	4 技能をバランスよく習得している。 ・ Summary 【思】① ・ Retelling 【思】① 【知】② ・ Listening 【知】① ・ Writing 【知】② 【思】② ・ Reading 【知】① ・ Speaking 【学】②	確認テスト	●		
			パフォーマンス評価		●	●							
	Lesson 8 Standing Up for Human Rights 【知】①② 【思】①② 【学】②	(人権・スポーツ) Playing the Enemyを読む。南アフリカの歴史を変えたワットソンとグレイズスポーツとおと、どのように南アフリカの黒人と白人が親密になり、気持ちが変わっていったかを理解する。 過去完了進行形、進行形の受動態、分詞構文を活用し、世界の偉人を調べ、発表する。 Reading 演習	●	●	●	●	11	4 技能をバランスよく習得している。 ・ Summary 【思】① ・ Retelling 【思】① 【知】② ・ Listening 【知】① ・ Writing 【知】② 【思】② ・ Reading 【知】① ・ Speaking 【学】②	確認テスト	●			
	パフォーマンス評価		●	●									
	Communication in Practice 3 Looking for an Apartment for Studying Abroad 【学】①②	アパートの広告を読む ウェブサイトの情報と親に希望をもとに、アパートを借りる際の条件について話し合い、アパートを決める。アパートの見学の申し込みフォームに記入する。	●	●	●	●	4	・ Speaking 【学】①②	確認テスト	●			
	パフォーマンス評価		●	●									
		3学期期末考査					1						

令和4年度 年間授業計画 (評価計画)

東京都立富士高等学校

教科	外国語 (英語)	科目名	論理・表現 I		対象学年	1年	単位数	2単位	観点別評価				
使用教科書	Vision Quest English Logic and Expression I Advanced (啓林館)				教科担当	A組:小野澤 信一・松尾 陽介 B組:小野澤 信一・羽立 朋代 C組:小野澤 信一・羽立 朋代			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
補助教材	Vision Quest 論理表現I AlphaI Advanced (啓林館)、システム英単語 第5訂版 (駿台文庫)												
教科の目標	<p>【知識及び技能】</p> <p>①学習した内容を活用し、読むこと、聞くことの2技能を使って簡単な文章を理解することができる。</p> <p>②学習した内容を活用し、英語で短い文章を書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①学習した内容の文章、本の概要や要点を理解することができ、既習表現を使って文章を組み立て、英語によるコミュニケーションを図ることができる。</p> <p>②身近な話題について基本的な表現を英語で書いて読者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①世界にある文化、関わる他者が異なることを受け入れ、学習した内容を活用してコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>②基本的な表現を英語で相手に伝えようと挑戦している。</p>				科目の目標	同上							
学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域			配当時間	評価規準	評価方法					
			開	読	話(発)							書	
主な学習内容と授業時数	1学期	Lesson1 "I want to introduce my friend."	・文の種類 ・部活動について紹介する、応答する	●	●	●	●	2	・適切な種類の文を用いて表現することができる【知】① ・エッセイ【知】② ・部活動の紹介を聞き、適切な英語の応答することができる【思】① ・課題への取り組み【学】①②	確認テスト	●	●	
										エッセイ	●	●	●
											授業態度		
	1学期	Lesson2 "How about joining our group?"	・文型と動詞 ・文化祭の予定について話し合う	●	●	●	●	2	・語順に注意して文を作ることができる【知】① ・パフォーマンステスト【思】① ・相手の意見に対し、賛成・反対を表明することができる【思】② ・課題への取り組み【学】①②	確認テスト	●	●	
										パフォーマンステスト	●	●	●
											授業態度		
	13週	Lesson3 "I'm planning a day trip this weekend."	・時制 ・旅行の計画を立てる	●	●	●	●	2	・相手の旅行体験談を聞き、英文でまとめることができる【知】① ・エッセイ【知】② ・旅行の計画を立ててクラスへプレゼンすることができる【思】① ・課題への取り組み【学】①②	確認テスト	●	●	
										プレゼンテーション	●	●	●
											授業態度		
	13週	Lesson4 "Have you ever tried it before?"	・完了形 ・相手の興味関心のあることや経験をたずねる	●	●	●	●	2	・これまで経験したことがあることについて完了形を用いて述べる【知】① ・エッセイ【知】② ・相手の興味関心のあることや経験をたずねることができる【思】② ・課題への取り組み【学】①②	確認テスト	●	●	
									エッセイ	●	●	●	
										授業態度			●
13週	Lesson5 "What do you want to do after high school?"	・助動詞 ・許可を求める、依頼する ・義務、必要を表す ・回想する、自省する ・高校卒業後の進路や将来について夢を語る	●	●	●	●	2	・高校卒業後の進路や将来について、それを実現するためにすべきことを含めて表現することができる【知】①【思】① ・エッセイ【知】② ・課題への取り組み【学】①②	確認テスト	●	●		
									エッセイ	●	●	●	
										授業態度			●
13週	オンライン英会話	・効果的な自己紹介について、ネイティブ講師とやり取りしながら実践的に学ぶ	●				3	・自己紹介のtipsを理解している【思】② ・初めて会った人にどういふ情報を伝えるか考えながら自己紹介をすることができる【学】①②	やり取り	●	●	●	
									授業態度			●	
13週	Speech&Presentation1	・自己紹介のスピーチ			●	●	3	・1学期のまとめとして自己紹介スピーチを行う【思】①② ・eye contact, voice, visual aid, postureなどに注意しながら発表する【学】①②	パフォーマンステスト	●	●	●	
									原稿、資料	●	●		
										授業態度			●
13週	Debate	・あるトピックについて賛成・反対に別れ、筋道立てて英語で賛否の理由を述べながらディベートを行う	●			●	9	・決められた役割(賛否)に沿って主張を組み立て英語で主張することができる【知】① 【思】① 【学】②	ディベート	●	●	●	
									資料	●	●		
										授業態度			●
		1学期期末考査					1			●			

学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域				配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
			聞	読	話(「や」)	話(「発」)						
2 学 期 (1 3 週)	Lesson6 "Did you hear about the new shop?" 【知】①② 【学】①②	・受動態 ・原因や影響を表す ・喜びや驚きを表す ・買い物の内容について話す	●	●	●	●	2	・買い物体験について順序だてて詳細に英文にまとめることができる【知】① ・エッセイ【知】② ・課題への取り組み【学】①②	確認テスト	●	●	
									エッセイ	●	●	●
									授業態度			●
	Lesson7 "I'm happy to have you with us." 【知】①② 【思】① 【学】①②	・不定詞 ・誕生日パーティーを舞台に、話し手の感謝・謝罪などの気持ちを表す	●	●	●	●	2	・もらったことのある誕生日プレゼントについて詳細を述べる【知】① ・そのプレゼントに対してのお礼のメッセージを書く【思】① ・エッセイ【知】② ・課題への取り組み【学】①②	確認テスト	●	●	
									エッセイ	●	●	●
									授業態度			●
	Lesson8 "What sport do you like playing?" 【知】① 【思】①② 【学】①②	・動名詞 ・スポーツの長所をまとめ、おすすめ のスポーツについて話す	●	●	●	●	2	・スポーツの長所と、おすすめのスポーツについてパラグラフライティングでまとめることができる【知】① ・おすすめのスポーツについて、クラスにプレゼンをすることができる【思】① ・プレゼンテーション【思】①② ・課題への取り組み【学】①②	確認テスト	●	●	
									プレゼンテーション	●	●	●
									授業態度			●
	Lesson9 "Digital media has come a long way." 【知】①② 【学】①②	・分詞 ・人物や物について描写したり、判断の根拠を述べたりする	●	●	●	●	2	・自分の性格について経験を引用しつつ述べる【知】① ・エッセイ【知】② ・課題への取り組み【学】①②	確認テスト	●	●	
								エッセイ	●	●	●	
								授業態度			●	
Lesson10 "That's why I decided to go back." 【知】① 【思】①② 【学】①②	・関係詞 ・人や物について定義したり、表現を言変えたりする ・日本文化のひとつを取り上げて英語で説明する	●	●	●	●	2	・日本文化のうちひとつを取り上げ、英語で紹介することができる【知】① ・プレゼンテーション【思】①② ・課題への取り組み【学】①②	確認テスト	●	●		
								プレゼンテーション	●	●	●	
								授業態度			●	
オンライン英会話 【思】② 【学】①②	・あるトピックについて、ネイティブ講師とやり取りしながら実践的に学ぶ			●			3	・自己紹介のtipsを理解している【思】② ・初めて会った人にどういった情報を伝えるか考えながら自己紹介をすることができる【学】①②	やり取り	●	●	●
									授業態度			●
Speech&Presentation1 【思】①② 【学】①②	・自分が好きなものについてShow&Tellをする				●	●	3	・2学期のまとめとして、自分が好きなものについてShow&Tellを行う。【思】①② ・eye contact, voice, visual aid, postureなどに注意しながら発表する。【学】①②	パフォーマンステスト	●	●	●
									原稿、資料	●	●	
									授業態度			●
Debate 【知】① 【思】① 【学】②	・あるトピックについて賛成・反対に別れ、筋道立てて英語で賛否の理由を述べながらディベートを行う			●	●		9	・決められた役割(賛否)に沿って主張を組み立てることができる ・相手の主張のあらましを英語で聞き取ることができる。 【知】① 【思】① 【学】②	ディベート	●	●	●
									資料	●	●	
									授業態度			●
	2学期期末考査						1			●		

主な学習内容と授業時間

学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域				配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
			開	読	話(発)	書						
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	Lesson11 "Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones." 【知】①② 【思】② 【学】①②	・比較 ・国際問題に関して、私たちができる取り組みを提案する	●	●	●	●	2	・ジェンダー問題などについて、問題点や私たちができる取り組みについて論理的に述べる【知】① ・データを比較し、自分の意見に客観性をもたせることができる【思】② ・エッセイ【知】② ・課題への取り組み【学】①②	確認テスト	●	●	
			エッセイ	●	●	●						
			授業態度			●						
	Lesson12 "If I were you, I'd see it as a positive." 【知】① 【思】①② 【学】①②	・仮定法 ・助言をしたり、願望を述べたりする ・社会問題について意見を述べる	●	●	●	●	2	・日本における社会問題のうちひとつを取り上げ、自分の意見をまとめてプレゼンすることができる【知】① ・プレゼンテーション【思】①② ・課題への取り組み【学】①②	確認テスト	●	●	
			プレゼンテーション	●	●	●						
			授業態度			●						
	オンライン英会話 【思】② 【学】①②	・あるトピックについて、ネイティブ講師とやり取りしながら実践的に学ぶ			●		3	・自己紹介のtipsを理解している【思】② ・初めて会った人にどういった情報を伝えるか考えながら自己紹介をすることができる【学】①②	やり取り	●	●	●
			授業態度			●						
	Speech&Presentation 3 【知】①② 【思】①② 【学】①②	・プレゼンテーションに必要な表現				●	●	3	・学年のまとめとして自分が行ってみたい国についてプレゼンテーションをする ・「話し方」(Delivery)、「聴衆を意識した表情や姿勢」(Non-verbal effects)などに注意しながら発表する	パフォーマンステスト	●	●
原稿、資料			●	●								
授業態度					●							
Debate 【知】① 【思】① 【学】②	・あるトピックについて賛成・反対に別れ、筋道立てて英語で賛否の理由を述べながらディベートを行う			●	●	7	・決められた役割(賛否)に沿って主張を組み立てることができる。 ・相手の主張を英語で正確に聞き取り、それに反論を英語で組み立てることができる。 【知】① 【思】① 【学】②	ディベート	●	●	●	
		資料	●	●								
		授業態度			●							
	3学期期末考査					1						

令和4年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科	情報	科目名	情報 I	対象学年	1年	単位数	2単位	観点別評価				
使用教科書	高校情報 I Python (実教出版)			教科担当	A組：川崎 美幸 B組：川崎 美幸 C組：川崎 美幸			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
補助教材	高校情報 I Python 学習ノート 新課程版 (実教出版)											
教科の目標	【知識及び技能】情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・活用する方法について知識・技能を習得し、情報社会と人との関わりについての理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結びつきと捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。											
科目の目標	【知識及び技能】情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識・技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】事象を情報とその結びつきの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いる。 【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。											
学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法							
主な学習内容と授業時数	1学期	【単元名】情報社会	・情報と情報社会 ・問題解決の考え方 ・法規による安全対策 ・個人情報とその扱い ・知的財産権の概要と産業財産権 ・著作権	9	【知】情報の特徴について理解している。 【知】問題や問題解決の意味、問題解決の基本的な手順について理解している。 【思】情報セキュリティについて理解し、情報モラルについて考えようとしている。 【知】知的財産権の概要を理解している。 【主】特許情報を検索する活動に積極的に取り組んでいる。	提出物	●	●	●	●		
		1	【単元名】デジタル	・デジタル情報の特徴 ・数値と文字の表現 ・演算の仕組み ・音の表現 ・画像の表現 ・コンピュータの構成と動作 ・コンピュータの性能 ・データの圧縮と効率化	10	【主】情報の処理の仕組みや表し方に興味を持っている。 【思】情報を扱う際の仕組みや処理方法について、工夫されている点を考えている。 【知】コンピュータを活用して情報をデジタル化することができる。 【知】コンピュータ内部での情報の表し方や処理の仕組みを理解している。	提出物	●	●	●	●	
			3	【単元名】プログラミング	・アルゴリズム ・プログラミングの基本 ・配列 ・関数	6	【知】アルゴリズムの基本とプログラムの意味を理解している。 【思】アルゴリズムをフローチャートで表現することができる。 【知】基本構造のプログラムを理解し、作成できる。 【知】配列や関数を用いたプログラムを作成できる。 【主】基本構造や配列・関数を用いて、効率の良いプログラムの作成に意欲的に取り組んでいる。	提出物	●	●	●	●
		1学期期末考査		1		期末考査						
	主な学習内容と授業時数	2学期	【単元名】プログラミング	・探索 ・整列 ・プログラムの設計手法	5	【主】探索と整列について理解している。 【知】探索・整列のプログラムを作成できる。 【知】状態遷移図や状態遷移表を正しく作成することができる。 【思】状態遷移図や状態遷移表を、課題解決のためのプログラム設計に活用しようとしている。	提出物	●	●	●	●	
			1	【単元名】データ分析	・データの収集と整理 ・ソフトウェアを利用したデータの処理 ・統計量とデータの尺度 ・データの分布と検定の考え方 ・時系列分析と回帰分析 ・区間推定とクロス集計	8	【主】収集したデータを統計的に処理することに興味を持っている。 【知】検定・推定を行う処理の仕組みを理解している。 【知】統計量や分布を用いて検定することができる。 【思】分析したいデータに合わせて、検定・推定の考え方を活用することができる。	提出物	●	●	●	●
				3	【単元名】モデル化とシミュレーション	・モデル ・確定的モデルのシミュレーション ・確率的モデルのシミュレーション	7	【主】コンピュータを用いたモデル化とシミュレーションに関心を持っている。 【思】シミュレーションした結果を分析・判断し、適切に表現している。 【知】問題解決に有効に活用するためのモデル化とシミュレーションをすることができる。 【知】モデル化とシミュレーションを問題解決に活用するための知識を身に付けている。	提出物	●	●	●
		1	【単元名】ネットワーク	・ネットワークとプロトコル ・インターネットの仕組み ・Webページの閲覧とメールの送受信	5	【主】情報通信ネットワークの仕組みや働きで工夫されている点に関心をもっている。 【思】情報通信ネットワークの必要性や仕組みについて考察し、適切に説明している。 【思】効果的に情報を共有するために、情報機器を活用することができる。 【知】多様な情報をやり取りするための仕組みや方法について理解している。	提出物	●	●	●	●	
				2学期期末考査		1		期末考査				

主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
3 学 期 （ 9 週 ）	【単元名】情報デザイン 【知】効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付ける。 【思】コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考えること。 【学】効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し評価改善しようとする。	・コミュニケーションとメディア ・情報デザインと表現の工夫 ・プレゼンテーション ・Webページと情報デザイン	6	【知】情報デザインの意味について理解している。 【知】適切なプランニングシートを作成できる。 【思】論理的に情報を伝えるための表現をしようとしている。 【主】Webページの制作に意欲的に取り組んでいる。 【知】HTMLタグやCSSセレクタの働きを理解して	提出物	●		●	
						実技試験	●	●	
						期末考査	●	●	
	【単元名】データベース 【知】情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解する。 【思】目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考える。 【学】情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えようとする。	・情報システムを支えるデータベース ・データベースの仕組み ・個人による安全対策 ・安全のための情報技術	5	【主】情報社会の安全とそれを支えるために情報技術が活用されていることに関心をもっている。 【思】情報システムの安全性について考え、安全確保策が適切かどうか考察し、判断している。 【思】情報社会の安全性を高めるために、情報技術を活用することができる。 【知】情報システムや提供されるサービスについて、仕組みや働きについて理解している。	提出物	●		●	
						実技試験	●	●	
						期末考査	●	●	
	【単元名】プログラミング（活用） 【知】アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータを活用する方法について理解し技能を身に付ける。 【思】目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングを作成する過程を評価し、改善する。 【学】問題解決に向けてアルゴリズムを作成しようとし、よりよい解決をするべく、それを評価・改善しようとする。	・オープンデータの活用 ・プログラムによる動的シミュレーション ・計測・制御とプログラミング	6	【知】オブジェクト指向について理解している。 【思】プログラムでファイルを扱うことができる。 【主】プログラムにてオープンデータを活用しようとしている。 【知】コンピュータにおける計測・制御を理解している。 【知】アナログ入力・デジタル出力のプログラ	提出物	●		●	
						実技試験	●	●	
						期末考査	●	●	
	3学期期末考査				1				

令和4年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科	理数	科目名	理数探究（富士未来学Ⅳ）	対象学年	1年	単位数	2単位	観点別評価	
使用教科書	なし			教科担当	石井 由紀、金子 智宣 綾、高山 愛、宮本 英司 吉田 高志、長 明日香 竹田 美佳子、小野澤 信一 黒崎 良一、川崎 美幸			主体的に学習に取り組む態度	
補助教材	富士未来学テキスト								
教科の目標	【知識及び技能】対象とする事象について探究するために必要な知識及び技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】多角的、複合的に事象を捉え、数学や理科などに関する課題を設定して探究し、課題を解決する力を養うとともに創造的な力を高める。 【学びに向かう力、人間性等】様々な事象や課題に主体的に向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦しようとする態度、探究の過程を振り返って評価・改善しようとする態度及び倫理的な態度を養う。							知識・技能	
科目の目標	【知識及び技能】対象とする事象について探究するために必要な知識及び技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】多角的、複合的に事象を捉え、数学や理科などに関する課題を設定して探究し、課題を解決する力を養うとともに創造的な力を高める。 【学びに向かう力、人間性等】様々な事象や課題に主体的に向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦しようとする態度、探究の過程を振り返って評価・改善しようとする態度及び倫理的な態度を養う。								
学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法				
主な学習内容と授業時数	富士未来学Ⅳガイダンス	○富士未来学Ⅳガイダンスをとおして、富士未来学が目指す「富士山型探究者」の育成、富士未来学で身に付ける資質・能力、富士未来学の6年間の学び、富士未来学Ⅳの1年間の活動予定、富士未来学の学び方について、富士未来学の評価について、富士未来学Ⅳガイダンスへの取組の振り返りについて学ぶ。	2	主に次の点を評価する。 【知】富士未来学Ⅳガイダンスで学習した内容を理解している。 【行】1年間の探究活動の見直しを立てることができる。富士未来学での自己の目標をもつことができる。 【主】挑戦力を働かせて富士未来学Ⅳガイダンスに取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。	ワークシート 到達度確認シート	●		●	
	課題発見講座Ⅲ	○課題発見の手法をワークショップをとおして学ぶ。 ○先行論文や文献の探し方や整理の仕方を学ぶ。 ○先行研究となる科学論文の読解から課題をみいだす方法を学ぶ。	4	主に次の点を評価する。 【知】課題発見講座Ⅲで学習した内容を理解している。 【思】ワークショップをとおして課題発見の手法を身に付けることができる。先行論文の整理の仕方、読解の仕方を学ぶことができる。課題を見いだす方法を身に付けることができる。 【主】挑戦力を働かせて課題発見講座Ⅲに取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。	ワークシート 到達度確認シート	●	●	●	
	質問紙講座Ⅰ	○質問紙の作成方法を学び、実際に作成し実践することをおとして、調査の信頼性や妥当性についての理解を深める。	4	主に次の点を評価する。 【知】質問紙講座Ⅰで学習した内容を理解している。 【思】研究倫理に配慮しながら、質問紙を作成することができる。 【主】挑戦力を働かせて質問紙講座Ⅰに取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。	ワークシート 到達度確認シート	●		●	
	探究発表会 6月	○自分の研究を振り返り、自分の研究で至らなかった点について謙虚に受け止め、今後の研究について改善し自己調整することを学ぶ。	10	主に次の点を評価する。 【知】探究発表会で学習した内容を理解している。 【思】富士未来学で取り組んだ課題研究の成果発表、参加者として質疑応答する活動をおとして、自らの研究を見つめ直し、研究の内容を改善し、発表させる機会とすることができる。 【主】挑戦力を働かせて探究発表会に取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。	ワークシート 到達度確認シート ポスター	●	●	●	
	個別探究活動	○個別探究活動をとおして、挑戦力、理数的発見力、理数的解決力を育成する。 ・ 数論セミナー（本校主催）への参加 ・ 国際科学オリンピックへの参加 ・ 国内外の科学系コンテストへの応募 ・ 大学主催のセミナー等への参加 ・ 研究機関や企業が主催するセミナーへの参加 ・ 科学展、博物館等の見学	6						
	1学期期末考査								
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
	主な学習内容と授業時数	研究計画書講座	○「疑問」から「問い」へ変換することで検証可能な研究課題を設定し、課題を検証するための研究計画を試行錯誤しながら立案することを学ぶ。	10	主に次の点を評価する。 【知】研究計画書講座で学習した内容を理解している。 【思】「富士未来学」における課題研究について、探究の過程の全体像を理解できる。自らの興味・関心から課題を見出し、研究課題を設定することができる。研究課題を解決するための研究計画を立案することができる。 【主】挑戦力を働かせて研究計画書講座に取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。	ワークシート 到達度確認シート	●	●	●
		個人・グループ研究	○失敗しながらも、試行錯誤し、やり抜こうとする挑戦力を奮い立たせ、継続しようとする探究心から、成果が得られることを学ぶ。 ○探究心をもち続けたことがことが科学者の最大の偉業であるということ、自らが課題研究に取り組む過程で学ぶ。	9	主に次の点を評価する。 【思】探究の意義及び、探究の過程について理解することができる。研究倫理に則って研究活動を進めることができる。観察・実験・調査等の技能、事象を分析するための統計処理の技能、探究の成果などをまとめ、発表するための技能を身に付けることができる。 【主】挑戦力を働かせて自己の課題研究に取り組もうとしている。	ワークシート 活動	●	●	●
		研究経過報告書	○研究経過報告書で自己の探究活動のふり返しを行い、今後の探究活動の計画を見直し、自己改善することを学ぶことができる。自分の課題研究の到達度を考えることで、今後どのようなことが必要か、自分自身に問いかけて自己調整することを学ぶ。	1	主に次の点を評価する。 【主】挑戦力を働かせて研究経過報告書に取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。	ワークシート			●
個別探究活動		○個別探究活動をとおして、挑戦力、理数的発見力、理数的解決力を育成する。 ・ 数論セミナー（本校主催）への参加 ・ 国際科学オリンピックへの参加 ・ 国内外の科学系コンテストへの応募 ・ 大学主催のセミナー等への参加 ・ 研究機関や企業が主催するセミナーへの参加 ・ 科学展、博物館等の見学	6						
2学期期末考査									

学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	個人・グループ研究 個人・グループ研究をとおして、 【思】多角的、複合的に事象を捉え、数学や理科などに 関する課題を設定して探究し、課題を解決する力を養う とともに創造的な力を高める。 【学】様々な事象や課題に主体的に向き合い、粘り強く 考え行動し、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積 極的に挑戦しようとする態度、探究の過程を振り返って 評価・改善しようとする態度及び倫理的な態度を養う。	○失敗しながらも、試行錯誤し、やり抜こうとする挑戦力 を奮い立たせ、継続しようとする探究心から、成果が得ら れることを学ぶ。 ○探究心をもち続けたことがことが科学者の最大の偉業で あるということを、自らが課題研究に取り組み過程で学 ぶ。	6	主に次の点を評価する。 【思】探究の意義及び、探究の過程について理解することでき る。研究倫理に則って研究活動を進めることができる。観察・実 験・調査等の技能、事象を分析するための統計処理の技能、探究 の成果などをまとめ、発表するための技能を身に付けることが できる。 【主】挑戦力を働かせて自己の課題研究に取り組みようとしてい る。	ワークシート		●	●
					活動		●	●
	探究発表会 2月 探究発表会をとおして、 【知】対象とする事象について探究するために必要な知 識及び技能を身に付けるようにする。 【思】多角的、複合的に事象を捉え、数学や理科などに 関する課題を設定して探究し、課題を解決する力を養う とともに創造的な力を高める。 【学】様々な事象や課題に主体的に向き合い、粘り強く 考え行動し、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積 極的に挑戦しようとする態度、探究の過程を振り返って 評価・改善しようとする態度及び倫理的な態度を養う。	○自分の研究を振り返り、自分の研究で至らなかった点に ついて謙虚に受け止め、今後の研究について改善し自己調 整することを学ぶ。	8	主に次の点を評価する。 【知】探究発表会で学習した内容を理解している。 【思】富士未来学で取り組んだ課題研究の成果発表、参加者とし て質疑応答する活動をとおして、自らの研究を見つめ直し、研究 の内容を改善し、深化させる機会とすることができる。 【主】挑戦力を働かせて探究発表会に取り組み、学習した内容を 自己の課題研究に生かそうとしている。	ワークシート		●	●
					到達度確認シート	●		
	個別探究活動	○個別探究活動をとおして、挑戦力、理数的発見力、理数 的解決力を育成する。 ・理数セミナー（本校主催）への参加 ・国際科学オリンピックへの参加 ・国内外の科学系コンテストへの応募 ・大学主催のセミナー等への参加 ・研究機関や企業が主催するセミナーへの参加 ・科学展、博物館等の見学	4					
	3学期期末考査							

令和4年度 年間授業計画 (評価計画)

東京都立富士高等学校

教科	外国語	科目名	中国語			対象学年	1年	単位数	2単位	観点別評価			
使用教科書	中国語はじめの一步					教科担当	A組：大平艶子 B組：大平艶子 C組：大平艶子			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
補助教材													
教科の目標	【知識及び技能】読む、話す、書くことによる学習を通して、簡単な会話ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】話し手や書き手の意図を的確に理解したり、適切に表現したり、伝え合ったりすることができる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】主体的、自律的に外国語語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。												
科目の目標	【知識及び技能】中国語の音声や簡体字、文法などの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、学習した語彙、文法を活用し適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】言語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に中国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。												
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域				配当時間	評価規準	評価方法			
				聞	読	話(発)	書						
主な学習内容と授業時数	1	導入部・発音 【知】中国について基礎知識、中国語の特徴を理解する。【思】学習した発音の基礎を活用し、自分の名前を中国語で言う【主】新しい知識について積極的に議論し、学習意欲を高める。	中国についての基礎知識。 中国語の特徴 声調、母音・子音	●	●	●	●	8	【知】中国の地理歴史民俗などについて理解する。中国語の特徴を理解し、声調、母音・子音を発音できる。【思】発音の重要性を思考、判断し、正しく表現できる。【主】単元内容を積極的に議論し、学習に向かう態度が高まっているか。	提出物	●	●	●
				●	●	●	●		テスト	●	●		
										授業態度			●
	1	第1課 【知】人称代名詞、「～は…できる」 【思】平叙文を否定文、疑問文に直せる 【主】応用文を作る。	「是」を使った構文で、「～人である」「～学生である。」初対面を想定した会話。中国人に多い苗字。	●	●	●	●	4	【知】【思】人称代名詞を使った構文を考え、会話を行う。【主】否定文、疑問文を活用し、会話文を作り、表現する。	提出物	●	●	●
				●	●	●	●		テスト	●	●		
										授業態度			●
	3	第2課 【知】疑問詞疑問文を理解する。 【思】「誰」「干嘛」「嗎」の使い分け 【主】応用文を作る。	疑問詞疑問文。「～の」のある文。 中国の教育事情。	●	●	●	●	6	【知】【思】色んな疑問詞を理解し、正しく表現し、会話を行う。【主】言葉を替え、練習を行う。	提出物	●	●	●
				●	●	●	●		テスト	●	●		
										授業態度			●
	週	第3課 【知】動詞の文を理解する。 【思】目的語に応じて適切な動詞を使う 【主】応用文を作る。	動詞の文。中国の高校と日本高校との違い。	●	●	●	●	6	【知】【思】「行く、食べる、飲む、学習する、ある、いる」などよく使う動詞を身につける。【主】新しいを応用し、会話を行う。	提出物	●	●	●
			●	●	●	●		テスト	●	●			
									授業態度			●	
数		まとめテスト	●	●	●	●		【知】【思】筆記試験、リスニング試験を行う。	筆記テスト	●	●		
		【知】【思】テスト					2		リスニング	●	●		
1学期期末考査													

令和4年度 年間授業計画 (評価計画)

東京都立富士高等学校

教科	外国語	科目名	フランス語			対象学年	1年	単位数	2単位	観点別評価				
使用教科書	Jardin du français					教科担当	A組：那波 洋子 B組：那波 洋子 C組：那波 洋子			知識・技能	主体的に学習に取り組む態度			
補助教材														
教科の目標	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	日常生活での様々な場面での会話表現を学び、表現できる 学んだ表現を自身で応用し、自分自身で表現できる 自発的に答えたり、質問できる積極性												
科目の目標	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	日常生活での様々な場面での会話表現を学び、表現できる 学んだ表現を自身で応用し、自分自身で表現できる 自発的に答えたり、質問できる積極性												
学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域				配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【感】	【主】		
			聞	読	話(発)	書								
主な学習内容と授業時数	1学期	Leçon 0 フランス語での挨拶と簡単な自己紹介	・フランスとフランス語への導入 ・フランス語での挨拶 ・簡単な自己紹介	●	●	●	●	5	・フランスに関する全般的な知識を持ち、フランス語圏の存在を知る ・日常的な挨拶ができる ・簡単な自己紹介ができる	単元毎のミニテスト	●	●	●	
		Leçon 1 自己紹介し合う	・国籍と職業の表現 ・être 動詞の主語による変化 ・主語の性数による国籍と職業の変化 ・名前を聞いたり、答える表現 ・フランス人の名前	●	●	●	●	5	・être 動詞を理解し運用できる ・主語の性数による国籍と職業の変化の理解 ・フランス人の名前を知る	単元毎のミニテスト	●	●	●	
		Leçon 2 カフェでの会話	・カフェに入ってから出るまでのウェイターとの会話 ・1～20までの数とユーロでの発音のがりと不定冠詞 ・フランスのカフェと日本のカフェの違い	●	●	●	●	6	・カフェの入出時でのウェイターとの挨拶ができる ・飲物・食べものが注文でき、支払いができる	単元毎のミニテスト	●	●	●	
	13週	Leçon 3 友達を紹介する	・話す言語を言う表現 ・学んでいる事の表現 ・住んでいる所の表現 ・好みの表現 ・第一群規則動詞 ・不定冠詞 ・否定文	●	●	●	●	10	・第一群規則動詞の規則性の理解と応用 ・不定冠詞の使い方の理解 ・否定文が自由に作れる	単元毎のミニテスト	●	●	●	
			会話の発表	●	●	●	●							
			授業態度				●							
	1学期期末考査													
	主な学習内容と授業時数	2学期	現在のパリの生成について	現在のパリの生成についてDVDを見ながら考える					2	現在のパリがユネスコの世界遺産に指定されている要因について理解	質問と解答表の提出	●	●	
				授業態度									●	
				単元毎のミニテスト	●	●	●	●						
		13週	Leçon 4 持ち物を言う・物を説明する	・日常で使う物の単語 ・物について聞き、答え、説明する ・avoir 動詞の変化 ・場所を表す前置詞 ・否定文と否定のde について理解する ・色々な疑問文の形を理解する	●	●	●	●	6	・日常的な単語の理解 ・物について尋ねたり、必要な説明ができる ・否定文のde について理解できる ・色々な疑問文の形で質問できる ・avoir 動詞の変化ができる	単元毎のミニテスト	●	●	●
				会話の発表	●	●	●	●						
授業態度							●							
13週		Leçon 5 人について聞いたり、説明する	・人について聞き、答える ・年齢を聞き、答える ・どんな人が聞いたり、答える ・所有形容詞	●	●	●	●	6	・家族についての単語を理解 ・フランス語の所有形容詞の理解 ・100までの数を聞き取り、言える ・年齢を聞き、答えられる ・形容詞の主語の性数による変化の理解	単元毎のミニテスト	●	●	●	
			会話の発表	●	●	●	●							
			授業態度				●							
13週		Leçon 6 食べる物、飲む物を言う	・食べる・飲むを表現する不規則動詞 manger, boire, prendre ・食べ物と飲み物の単語 ・部分冠詞 ・一日の食べ物、飲み物を言う ・フランスと日本の食文化の違い	●	●	●	●	6	・食べ物、飲み物の単語と部分冠詞を理解 ・不規則動詞manger, boire, prendre の変化の理解 ・朝食、昼食、夕食の食べる物と言える ・フランスと日本の食文化の違いについての理解	単元毎のミニテスト	●	●	●	
			会話の発表	●	●	●	●							
			授業態度				●							
13週	Leçon 7 行き先を聞いたり、説明する	・動詞aller, venir の活用 ・前置詞à, de の場所の性数による変化 ・行きたい場所を聞いたり、説明する ・移動手段について ・時間の表現	●	●	●	●	6	・動詞 aller, venir と前置詞の変化の理解 ・行き先の質問と説明ができる ・移動手段の理解 ・時間を聞いたり、答えられる	単元毎のミニテスト	●	●	●		
		会話の発表	●	●	●	●								
		授業態度				●								
2学期期末考査														

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域				配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【認】	【主】		
				聞	読	話「や」	話「発」							書	
主な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週）	Leçon 8 行きたい場所を聞く	<ul style="list-style-type: none"> 行きたい場所を聞いたり、道順を説明する 命令形 非人称表現（義務の表現、天気表現） 場所を表す中性代名詞 	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> 行きたい場所を聞いたり、道順の説明ができる 天気や義務の非人称表現ができる 中性代名詞 y を使って言い換えられる 	単元毎のミニテスト	●	●	●		
				●	●	●	●	●		6	●	●	●	●	●
				●	●	●	●	●		6	●	●	●	●	●
	3 学 期 （ 9 週）	Leçon 9 日程について話す	<ul style="list-style-type: none"> 曜日、日付を聞いたり、答える ～を終える finir の表現と第2群規則動詞 数量を聞いたり、中性代名詞 en を用いて答える 感想や印象を言う表現 	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> 曜日や日付を聞いたり、答えられる 第2群規則動詞の規則性を理解する 数量を聞いたり、中性代名詞en を用いて答えられる 物事についての感想や印象を表現できる 	単元毎のミニテスト	●	●	●		
				●	●	●	●	●		6	●	●	●	●	
				●	●	●	●	●		6	●	●	●	●	●
	3 学 期 （ 9 週）	Leçon 10 これからする事、したばかりの事を言う	<ul style="list-style-type: none"> 近接未来の表現 近接過去の表現 動詞faire の表現 動詞 pouvoir の表現 理由を聞いたり、説明する 	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> 近接未来、近接過去の表現ができる 動詞 faire の表現ができる 動詞 pouvoir の表現ができる 理由を聞いたり、答えられる 	単元毎のミニテスト	●	●	●		
				●	●	●	●	●		6	●	●	●	●	
				●	●	●	●	●		6	●	●	●	●	●
			3学期期末考査												

令和4年度 年間授業計画 (評価計画)

東京都立富士高等学校

教科	人間と社会	科目名	人間と社会	対象学年	1年	単位数	1単位	観点別評価		
使用教科書	人間としての在り方生き方に関する教科「人間と社会」改訂版教科書			教科担当	A組: 吉田 高志 B組: 長 明日香 C組: 石井 由紀			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材	なし									
教科の目標	【知識及び技能】予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の問題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】社会的現実を照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見いだし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力や、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよきを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。									
科目の目標	【知識及び技能】予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の問題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】社会的現実を照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見いだし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力や、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度と、互いのよきを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。									
学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法					
主な学習内容と授業時数	1学期 (13週)	学ぶことについて考える	学ぶことについて考える	4	【知】主体的に自己や社会の問題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けることができる。 【思】情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。 【主】人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよきを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養うことができる。	ワークシート				●
		支え合う社会	なぜ人は助け合い、支え合うのか考える	1	【知】主体的に自己や社会の問題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けることができる。 【思】情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。 【主】人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよきを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養うことができる。	ワークシート	●	●	●	
		働くことの意義	働くことはなぜ社会に貢献することにつながっているのか考える	1	【知】主体的に自己や社会の問題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けることができる。 【思】情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。 【主】人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよきを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養うことができる。	ワークシート	●	●	●	
		防災訓練	体験活動として防災訓練を行い、自助・共助・公助についての理解を深め、自分にできることは何か考える。	7	【知】主体的に自己や社会の問題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けることができる。 【思】情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。 【主】人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよきを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養うことができる。	ワークシート ポスター	●	●	●	
		1学期期末考査								
主な学習内容と授業時数	2学期 (13週)	自然と人間の関わりSDGsについて考える	「自然と上手に関わって生きる」とはどういうことか考える	4	【知】主体的に自己や社会の問題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けることができる。 【思】情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。 【主】人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよきを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養うことができる。	ワークシート	●	●	●	
		消費者市民社会メルカリ講演会	社会や環境などに配慮した消費とはどのようなものか考える	3	【知】主体的に自己や社会の問題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けることができる。 【思】情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。 【主】人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよきを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養うことができる。	ワークシート	●	●	●	
		校外学習	外来種駆除などを通して自然環境について考える	6	【知】主体的に自己や社会の問題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けることができる。 【思】情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。 【主】人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよきを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養うことができる。	ワークシート	●	●	●	
		2学期期末考査								
主な学習内容と授業時数	3学期 (9週)	人間と社会～これからの生き方～	これまで学んだことを生かして、どのようにして幸せな世の中にするか考える	5	【知】主体的に自己や社会の問題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けることができる。 【思】情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。 【主】人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよきを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養うことができる。	ワークシート	●	●	●	
		手話体験	手話体験を通して、バリアフリーな社会について考える	4	ポスターを用いて発表ができる。聴衆からももらった質問をもとに自分の研究の改善点を発見することができる。	ワークシート	●	●	●	
		3学期期末考査								